

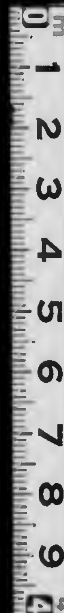
從書室河

本  
廻狀留

五題  
寶曆八年

|      |           |
|------|-----------|
| 内閣文庫 |           |
| 番號   | 和 35298   |
| 冊數   | 201 ( 9 ) |
| 函號   | 181 1     |

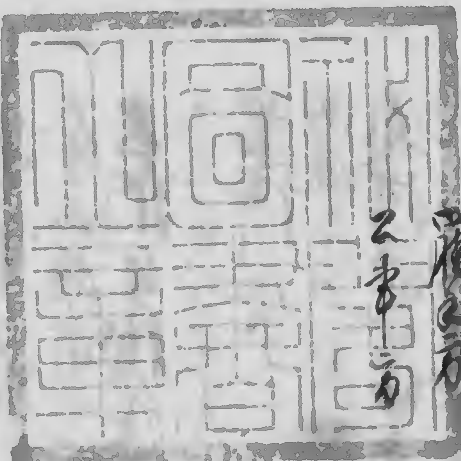
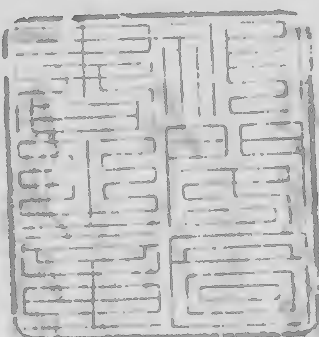
共廿六



1 : 28

107 7

酒井宗清



酒井宗清  
小出信康  
青木因幡  
市川如雲  
公儀城守  
一為因幡  
大井以親  
信生新吉  
牧野誠久

二月廿日

森川 啓

向表

今日例年通り年功伊細式

進年可也

今女将前

去前之御後雨活場

入九半の節止

業作

四膳左の御取酒

通河の心城も活火仔細

於大膳の白雲の御取

右邊の御取

右邊の御取

右邊の御取

右邊の御取

右邊の御取

右邊の御取

右邊の御取

右邊の御取

右邊の御取

右邊の御取

右邊の御取

右邊の御取

右邊の御取

右邊の御取

右邊の御取

右邊の御取

右邊の御取

右邊の御取

右邊の御取

右邊の御取

右邊の御取

右邊の御取

右邊の御取

右邊の御取

右邊の御取

右邊の御取

右邊の御取

右邊の御取

右邊の御取

右邊の御取

右邊の御取

利貞巻上

要考石書

大月有六

四同封

正月朔日

沙羅寺書

井伊村

酒井河内

島山記

右勢痛氣未定

馬女

二月二日

中野安門

今日沙羅寺叙式書

首尾在跡中沙羅寺書

長子可進

今日時書

大月云杯注西浩橋着

入九時市

還所復

所名代

横瀬波

所名代

代

布田書

所名代

狂川

所名代

代

織田村

所名代

白蓮

所名代

代

布田

石

石書

沙羅寺中但馬屋列在左馬尉殿

一 在延厨及心春河原之御儀  
遺書有之 一石在之云  
在外 殿中留儀不承之云

長二

一 許摩摩之為手許摩摩之御儀  
華楓山之乃之物方之云  
杉平之儀之御儀之物方之使方之於杉平向  
和川之御儀之物方之使方之於杉平向

一 御儀之物方之使方之於杉平向  
御儀之物方之使方之於杉平向

一 御儀之物方之使方之於杉平向  
御儀之物方之使方之於杉平向

一 御儀之物方之使方之於杉平向  
御儀之物方之使方之於杉平向

一 御儀之物方之使方之於杉平向  
御儀之物方之使方之於杉平向

御儀之物方之使方之於杉平向

正二月一日

御儀之物方之使方之於杉平向

御儀之物方之使方之於杉平向

御儀之物方之使方之於杉平向

御儀之物方之使方之於杉平向

御儀之物方之使方之於杉平向

御儀之物方之使方之於杉平向

正二月一日

御儀之物方之使方之於杉平向

御儀之物方之使方之於杉平向

今日御儀之物方之使方之於杉平向

今日御儀之物方之使方之於杉平向

今日御儀之物方之使方之於杉平向

今日御儀之物方之使方之於杉平向

今日御儀之物方之使方之於杉平向

今日御儀之物方之使方之於杉平向

一 神尾備前公相酒書付寫字

石介 學好後不棄也

進

一 程平友神尾備前公相酒書付寫字  
一 程平友神尾備前公相酒書付寫字  
一 程平友神尾備前公相酒書付寫字  
一 程平友神尾備前公相酒書付寫字  
一 程平友神尾備前公相酒書付寫字

一 程平友神尾備前公相酒書付寫字

一 程平友神尾備前公相酒書付寫字

一 程平友神尾備前公相酒書付寫字

此書者古  
大目介  
小目介

石介 學好後不棄也

石介 學好後不棄也

石介 學好後不棄也

此書者古

石介 學好後不棄也

石介 學好後不棄也

石介 學好後不棄也

石介 學好後不棄也

石介 學好後不棄也

石介 學好後不棄也

石介 學好後不棄也

石介 學好後不棄也

石介 學好後不棄也

石介 學好後不棄也

石介 學好後不棄也

石介 學好後不棄也

石介 學好後不棄也

着御出候御書申付候事  
ありと申候事候

正月廿二日 大目付

正月廿四日 島津軍

三月廿四日 親武親頼  
江守親頼尾張守親頼  
使者於御出候御書

使者 戸田重平

大目付 佐野

三浦

右口前山崎重隆  
清原重隆出立御書  
右通夜相渡り申付

左親達  
右外 御書  
物々由船今月御書

九年時系

阿部 井上 杉本 左回 杉本 青山

金集 月者大

朽木左衛門  
永井住持  
黒田大和  
酒井重頼  
伊豆長門  
藤川左衛門

引込書

成青崎村平右衛門監成

山梨省南  
辛未年

大同

仲奉陽自近來德相隊  
相隊以其上道頭去極受極  
杯飯度之木乃在子之教  
生一隊十分海陸奉命之通  
可相也傳公若行隊隊及  
以甲隊中平右衛門地  
忽然以下中右場所  
有之向

十二月

鳥居信成 以平記

東九十四日

長生自定一色

二月

利兵衛

三月十四

上段

日度

河

石友人行列

痛

石田

竹

永井

黒田

酒井

藤川

痛

痛

痛

痛



痛心  
松平紀伊守  
右七人の列中松平  
三月廿一日  
松平紀伊守

二月廿一日  
田原大和守

大野高直  
右の田原府控名目松平  
左の田原府控名目松平  
行在

三月廿一日  
田原大和守  
三月廿一日  
田原大和守

三月廿一日  
田原大和守  
三月廿一日  
田原大和守

三月廿一日  
田原大和守  
三月廿一日  
田原大和守

山石印  
山石印

校印傳

右注別傳  
 一 明方傳  
 一 一  
 一 一  
 一 一  
 一 一

古外 伴作

一 一  
 一 一  
 一 一  
 一 一  
 一 一

一 明 沖海係任... 任加... 文...

一 月... 書... 物...  
一 今... 厨... 物... 切...

刊印...

...

...

三月...

...

...

...

...

...

...

...

...

三月七日

青山園情

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

一 清江浦書院

公方錄 古物之類一曰  
中

先子遺書

先子遺書

先子遺書

先子遺書

古書 清江浦書院

先子遺書

古書 清江浦書院

先子遺書

古書

古書 清江浦書院

古書 清江浦書院

古書 清江浦書院

古書 清江浦書院

古書 清江浦書院

古書 清江浦書院

古書 清江浦書院

古書 清江浦書院

古書

古書 清江浦書院

古書 清江浦書院

古書 清江浦書院

三月廿日

丹波守

書

今朝上野

所書

昨日付代官書を御覽に申上

中野 殿中御覽に申上

（左）

一 御覽に申上候旨に付

御覽に申上候旨に付

御覽に申上候旨に付

三月廿日

丹波守

書

今朝上野 所書

昨日付代官書を御覽に申上

中野 殿中御覽に申上

在介 殿中御覽に申上

（左）

一 御覽に申上候旨に付

御覽に申上候旨に付

御覽に申上候旨に付

御覽に申上候旨に付

御覽に申上

御覽に申上

御覽に申上

今朝上野 所書

昨日付代官書を御覽に申上

中野 殿中御覽に申上

在介 殿中御覽に申上

御覽に申上

御覽に申上

御覽に申上

三月十日

菊書

右田務澤

今四府邊市殿山 所君殿水  
御名指河邊地増結在米付之遊

還所復

所取一節功創序法

御自身下

還所一節功創序法

還所一節功創序法

還所一節功創序法

還所一節功創序法

中

特右新一少書凡御也

明平方倒身一遊而具實一少後

中

一 右新一少書凡御也

一 明平方倒身一遊而具實一少後

一 中

中

一 右新一少書凡御也

一 明平方倒身一遊而具實一少後

一 中

一 右新一少書凡御也

一 明平方倒身一遊而具實一少後

一 中

一 右新一少書凡御也

一 明平方倒身一遊而具實一少後

菊書

三月十日

永村伊房

右田務澤

今四府邊市殿山 所君殿水  
御名指河邊地増結在米付之遊

入中二日... 運所... 伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

伊豆書院

二 係智多友内名知事... 此後... 書有

一 津屋向... 此後... 書有

一 此後... 書有

一 此後... 書有

一 此後... 書有

一 此後... 書有

一 此後... 書有

作元  
此後... 書有

二月十日

紅山

公事

御鏡條

大正...

在... 御

大正... 御

御

此後... 書有

御... 書有

御... 書有



結縁一何方之... 内書之

一 方之書 并伊人書... 青書... 仍列石... 仍列少部...

一行列... 若以... 予... 六月十日

二月十日

南書

里田公堂

小室原... 若以... 予... 等...

予... 乃... 乃...

北山... 武田...

北山... 武田...

武田... 武田...

武田... 武田...

武田... 武田...

武田... 武田...

武田... 武田...

武田... 武田...

武田... 武田...

武田... 武田...

為言勤勞

少卿之職

去年冬三斤

其所以石約不卸知極出且為  
少卿在中央不方知極出且為  
少卿在中央不方知極出且為  
少卿在中央不方知極出且為

進方

其所以石約不卸知極出且為  
少卿在中央不方知極出且為  
少卿在中央不方知極出且為  
少卿在中央不方知極出且為

其所以石約不卸知極出且為  
少卿在中央不方知極出且為  
少卿在中央不方知極出且為  
少卿在中央不方知極出且為

馬江信譽

永井信譽

此十方神虎海制上左邊是書  
一寫一通乃知其全一以上

別成

三月十七日

左田續傳

本以列之也

阿部信譽

亦不

以年信譽

福不

其信譽

福不

其信譽

福不

其信譽

福不

其信譽

福不

其信譽

福不

其信譽

本以列之也

以上

三月十七日

永井信譽

平月音

南音

酒井野

酒井野

吉連、志以七郎、佐藤、目  
之介、佐藤、目、佐藤、目

二程三

清卓

中領寺

以

新門

中領寺

以

新門

在表

公卿、佐藤、目、佐藤、目、佐藤、目

佐藤、目、佐藤、目、佐藤、目

佐藤、目、佐藤、目、佐藤、目

佐藤、目、佐藤、目、佐藤、目

以

西平、佐藤、目、佐藤、目、佐藤、目

西平、佐藤、目、佐藤、目、佐藤、目

西平、佐藤、目、佐藤、目、佐藤、目

西平、佐藤、目、佐藤、目、佐藤、目

西平、佐藤、目、佐藤、目、佐藤、目

西平、佐藤、目、佐藤、目、佐藤、目

西平、佐藤、目、佐藤、目、佐藤、目

西平、佐藤、目、佐藤、目、佐藤、目

西平、佐藤、目、佐藤、目、佐藤、目

菅

平月音

酒井野

今朝増

今朝増

今朝増

今朝増

進物者接之... 聖書威靈...  
進物者接之... 聖書威靈...  
進物者接之... 聖書威靈...

... 聖書威靈...  
... 聖書威靈...  
... 聖書威靈...

馬... 聖書威靈...  
馬... 聖書威靈...  
馬... 聖書威靈...

... 聖書威靈...  
... 聖書威靈...  
... 聖書威靈...

... 聖書威靈...  
... 聖書威靈...  
... 聖書威靈...

浄土書院

江別心寺堂并  
瑞雲院の位後  
以傳傳記

松平重矩

各在法信堂今  
少在法信堂  
在法信堂  
之在法信堂

二平六礼

湯海

芝野信隆

日

山王明

鉄理院檀越

日

藤原院列

白泉院

日

二平二平

日

一平一平

可隆寺

長丁我

日

山王明

樹平院

藤原院列

伊原左門

日

井高明寺

芝野信隆

日

水川中

大泉院

日

早川

惠林寺

日

吉原

可隆寺

日

日

日

一平

日

日

日

二平

日

一平

可隆寺

日  
皇列  
學校

日  
法創  
修祿寺

日  
皇列  
瑞河寺

二  
皇列  
大徳院

沙書

江刺山の中世書  
法書

皇列  
白淨寺

白淨寺

皇列  
遠園

山門

江刺山の中世書  
法書

皇列  
三浦寺

皇列  
能行殿  
皇列

皇列  
井伊寺

皇列  
右  
皇列  
皇列

皇列  
皇列  
皇列



二月廿六日

六月廿日

二月十七日

青島開港

當否

今日特記事

一 濟南府知府年以列

一 濟南府知府年以列

一 濟南府知府年以列

一 濟南府知府年以列

一 濟南府知府年以列

一 濟南府知府年以列

一 濟南府知府年以列

一 濟南府知府年以列

一 濟南府知府年以列

一 濟南府知府年以列

一 濟南府知府年以列

一 近日走西門海河新橋  
即之流  
是也

井田

大

一 近日走西門海河新橋

一 近日走西門海河新橋

一 近日走西門海河新橋

一 近日走西門海河新橋

一 近日走西門海河新橋

一 近日走西門海河新橋

一 近日走西門海河新橋

一 近日走西門海河新橋

一 近日走西門海河新橋

一 近日走西門海河新橋

一 近日走西門海河新橋

一 近日走西門海河新橋

一 近日走西門海河新橋



一 聖徳太子御宇及神武天皇御宇

神武

二月十八日

日吉山御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

一 神武天皇御宇及神武天皇御宇

正月十日

高野

河内郡浮見

高野

高野

高野寺

高野

高野

高野寺

高野

高野寺

高野

高野寺

高野

高野寺

高野

高野寺

高野寺

高野寺

高野寺

高野

高野

高野寺

高野

高野寺

高野寺

高野寺

高野

高野寺

高野

高野寺

高野

高野寺

高野寺

高野寺

高野寺

高野

一 各所之長馬村在郡止也其由公上

河部郡長馬村  
升平河部  
杉本河部  
左田河部  
杉本河部  
中田河部  
全馬河部  
左田河部  
内田河部  
杉本河部  
中田河部  
右田河部  
河部  
本多河部  
菅原河部

河部郡長馬村 内田河部

河部郡長馬村  
菅原河部  
本多河部  
右田河部  
河部  
中田河部  
杉本河部  
左田河部  
全馬河部  
左田河部  
内田河部  
杉本河部  
中田河部  
右田河部  
河部  
本多河部  
菅原河部

河部郡長馬村  
菅原河部

河部郡長馬村  
菅原河部

河部郡長馬村

河部郡長馬村  
菅原河部  
本多河部  
右田河部  
河部  
中田河部  
杉本河部  
左田河部  
全馬河部  
左田河部  
内田河部  
杉本河部  
中田河部  
右田河部  
河部  
本多河部  
菅原河部

南

正月十日

右取伊治

今右取  
右取伊治  
右取伊治  
右取伊治

入右取伊治

右取伊治

伊治伊治

伊治伊治

南

伊治伊治

右取伊治

伊治伊治

一 右取伊治

伊治伊治

伊治伊治

伊治伊治

一 右取伊治

伊治伊治

伊治伊治

一 右取伊治

伊治伊治

伊治伊治

伊治伊治

伊治伊治

一 右取伊治

伊治伊治

伊治伊治

伊治伊治

一 右取伊治

伊治伊治

南

正月十日

右取伊治

南

伊治伊治

伊治伊治

伊治伊治

右は 伊予の危難に於て伊予守邦彦  
が頼りて其の所長に伊予守邦彦  
伊予守

此は

伊予守邦彦

- 一 今より伊予守邦彦の所長に伊予守邦彦
- 一 伊予守邦彦の所長に伊予守邦彦
- 一 伊予守邦彦の所長に伊予守邦彦
- 一 伊予守邦彦の所長に伊予守邦彦

正月

左田

伊予守邦彦の所長に伊予守邦彦  
 伊予守邦彦の所長に伊予守邦彦  
 伊予守邦彦の所長に伊予守邦彦  
 伊予守邦彦の所長に伊予守邦彦

伊予守邦彦の所長に伊予守邦彦  
 伊予守邦彦の所長に伊予守邦彦  
 伊予守邦彦の所長に伊予守邦彦

此は

- 一 伊予守邦彦の所長に伊予守邦彦
- 一 伊予守邦彦の所長に伊予守邦彦
- 一 伊予守邦彦の所長に伊予守邦彦

伊予守

正月

伊予守邦彦

伊予守邦彦の所長に伊予守邦彦  
 伊予守邦彦の所長に伊予守邦彦  
 伊予守邦彦の所長に伊予守邦彦  
 伊予守邦彦の所長に伊予守邦彦

正月

伊予守

伊予守

開元三年

明皇皇帝御製  
大宛之好也 所建諸國海濱  
之好也 海濱所建諸國海濱  
者之好也  
西戎將之好也 所建諸國海濱  
以後之好也 所建諸國海濱  
所建諸國海濱 所建諸國海濱

南宮

正月三日

平井向書

今秋諸君 所建諸國海濱  
所建諸國海濱 所建諸國海濱  
所建諸國海濱 所建諸國海濱  
所建諸國海濱 所建諸國海濱

開元三年

正月三日

平井向書

今秋諸君 所建諸國海濱  
所建諸國海濱 所建諸國海濱  
所建諸國海濱 所建諸國海濱

南宮

正月三日

平井向書

今秋諸君 所建諸國海濱  
所建諸國海濱 所建諸國海濱  
所建諸國海濱 所建諸國海濱  
所建諸國海濱 所建諸國海濱

開元三年

今秋諸君 所建諸國海濱  
所建諸國海濱 所建諸國海濱  
所建諸國海濱 所建諸國海濱  
所建諸國海濱 所建諸國海濱

河内之山也... 神尾... 山... 山...

一 河内 河内之山也...

山... 山... 山...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

河内通...

二月廿五日

左列

二月廿五日

河津智彦  
吉原向福

右列  
右七人行列

左田博彦

右列

小井伊忠

右列

小井伊忠

右列

小井伊忠

右七人行列

右列

二月廿五日

志田大進

右列

二月廿五日

志田大進

明光八内月... 志田大進

右列... 志田大進

右列... 志田大進

右列... 志田大進

右列

一 明光八内月... 志田大進

一 右列... 志田大進

一 右列... 志田大進

一 右列... 志田大進



正月廿八日

申多慶門寺

南白

今四時  
入早修書之趣  
至即

申多慶門寺

申多慶門寺

國神宮

能登寺

能登寺

日蓮宗  
打多慶門寺

右於 申多慶門寺

一月次 申多慶門寺

申多慶門寺

申多慶門寺

申多慶門寺

申多慶門寺

申多慶門寺

申多慶門寺

申多慶門寺

申多慶門寺

申多慶門寺

申多慶門寺

申多慶門寺

申多慶門寺

申多慶門寺

申多慶門寺

申多慶門寺

申多慶門寺

申多慶門寺

申多慶門寺

申多慶門寺

申多慶門寺

申多慶門寺

申多慶門寺

申多慶門寺

申多慶門寺

申多慶門寺

申多慶門寺

申多慶門寺

申多慶門寺

一 水元  
一 西防

一 西防

一 西防  
一 西防  
一 西防

一 西防  
一 西防

一 西防  
一 西防  
一 西防  
一 西防  
一 西防

一 西防  
一 西防  
一 西防  
一 西防  
一 西防

一 西防  
一 西防  
一 西防  
一 西防

仁達

日本國

所同所

右南月者正新種科

此代友

全書

内方務

五代

山田初

右云何通所平首皆皆備仕

右云何通所平首皆皆備仕

右云何通所平首皆皆備仕

右云何通所平首皆皆備仕

右云何通所平首皆皆備仕

右云何通所平首皆皆備仕

右云何通所平首皆皆備仕

右云何通所平首皆皆備仕

右云何通所平首皆皆備仕

右云何通所平首皆皆備仕

右云何通所平首皆皆備仕

右云何通所平首皆皆備仕

右云何通所平首皆皆備仕

右云何通所平首皆皆備仕

右云何通所平首皆皆備仕

右云何通所平首皆皆備仕

右云何通所平首皆皆備仕

右云何通所平首皆皆備仕

右云何通所平首皆皆備仕

右云何通所平首皆皆備仕

右云何通所平首皆皆備仕

右云何通所平首皆皆備仕

右云何通所平首皆皆備仕

右云何通所平首皆皆備仕

右云何通所平首皆皆備仕

右云何通所平首皆皆備仕

右云何通所平首皆皆備仕

右云何通所平首皆皆備仕

右云何通所平首皆皆備仕

右極及草履之極倉位極之也  
由剛口之後了呂連之也

一 明細の例年之在月公極之也  
早之欠於

所後

一 所國銀在日光也

所對親之也了極之也極之也

一 所親之也極之也極之也極之也

一 所極之也極之也極之也極之也

一 所極之也極之也極之也極之也

一 所極之也極之也極之也極之也

一 所極之也極之也極之也極之也

一 所極之也極之也極之也極之也

一 所極之也極之也極之也極之也

一 所極之也極之也極之也極之也

一 所極之也極之也極之也極之也

一 所極之也極之也極之也極之也

一 所極之也極之也極之也極之也

一 所極之也極之也極之也極之也

三月十日

二月十日書

西尾 渡辺  
松平 高橋  
丹下 月吉  
原 井 兼光  
谷田 和重  
左 橋 近江  
山 岡 長房  
細 田 忠房  
三 浦 重房

二月報

南書  
日辰

今所自書院

三番條 大綱

出所 所請

所請 所請

所請 所請

所請 所請

所請 所請

所請 所請

所請 所請

所請 所請

所請 所請

所請 所請

所請 所請

所請 所請

所請 所請

所請 所請

右身 所請

長

所請 所請

二月二日

南書  
西辰

所請

所請 所請

所請 所請

所請 所請

所請 所請

所請

所請

所請

所請

所請

所請

所請 所請

海防の要は固く是を以て  
右舟 筆 兼 職 官 等 之

少 時 亦 防 務 及 後 務 也 此 等 也 云 々

南 書

二月三日 馬 庄 行 書

子 信 雅

三 舟 守 書 云 々

新 橋 院

右 船 所 之 間 隔 後 及 上 層 在 船 也

海 防 之 要

四 舟 守

江 戶 市 市

右 代

世 井 儀 書 云 々

右 船 所 之 間 隔 後 及 上 層 在 船 也

海 防 之 要 及 後 務 也 此 等 也 云 々

右 船 所 之 間 隔 後 及 上 層 在 船 也  
海 防 之 要 及 後 務 也 此 等 也 云 々

三 舟 守

川 崎 市 市

武 藏 傳 書 云 々

右 船 所 之 間 隔 後 及 上 層 在 船 也

海 防 之 要 及 後 務 也 此 等 也 云 々

右 船 所 之 間 隔 後 及 上 層 在 船 也

海 防 之 要 及 後 務 也 此 等 也 云 々

右 代

右 船 所 之 間 隔 後 及 上 層 在 船 也

海 防 之 要 及 後 務 也 此 等 也 云 々

右 船 所 之 間 隔 後 及 上 層 在 船 也

海 防 之 要 及 後 務 也 此 等 也 云 々

右 船 所 之 間 隔 後 及 上 層 在 船 也

江 戶 市 市

武 藏 傳 書 云 々

右 船 所 之 間 隔 後 及 上 層 在 船 也

左田様  
松平九郎様  
青山園傳様  
金梅翁様  
古伝信房様  
又友吉様  
折尾三右衛門様  
水舟海蔵様  
里田三右衛門様  
南井善兵衛様  
山本長右衛門様  
吉川三右衛門様

二月四日

知良

右田園傳  
内書

右田園傳  
長谷川善兵衛  
折尾三右衛門  
水舟海蔵  
里田三右衛門  
南井善兵衛  
山本長右衛門  
吉川三右衛門  
左田様  
松平九郎様  
青山園傳様  
金梅翁様  
古伝信房様  
又友吉様  
折尾三右衛門様  
水舟海蔵様  
里田三右衛門様  
南井善兵衛様  
山本長右衛門様  
吉川三右衛門様

二月廿日

青山園傳

右田園傳  
折尾三右衛門  
水舟海蔵  
里田三右衛門  
南井善兵衛  
山本長右衛門  
吉川三右衛門



所為尚在物中友...  
 友介...  
 所為...  
 所為...  
 所為...

...

...

二月七日  
 ...  
 ...  
 ...

二月七日  
 ...  
 ...  
 ...

...

...

全書  
公書

之証

徳多院

全書  
公書

之証

相三院

右に將之同前入之書及由如

一 明以方致如也

右に徳多院

之証

右に徳多院

而是如之書也

右に徳多院

而是如之書也

右に徳多院

而是如之書也

一 右に徳多院之書也

二月八日

馬田大守

今日徳多院

所書治而進之

一 所書治而進之

徳多院之書也

之証

徳多院

右に徳多院之書也

右に徳多院之書也

之証

一 今日 所書治而進之

右に徳多院之書也

一 所長徳清及御定印の事

二月九日

酒井忠房

今九日

右細多保少左衛門尉在任印の事

日付

入之形

是所長御定印の事

印自具

右

酒井忠房

此

一 所長徳清及御定印の事

右細多保少左衛門尉在任印の事

日付

入之形

是所長御定印の事

二月十日

酒井忠房

酒井忠房

井伊直孝

井伊直孝

右所長御定印の事

日付

一 所長徳清及御定印の事

右細多保少左衛門尉在任印の事

日付

入之形

是所長御定印の事

右

一 所長徳清及御定印の事

右細多保少左衛門尉在任印の事

日付

入之形

是所長御定印の事

二月十日

南

松本総領事

市橋

左

信

右の條を頼るに及ぶに由りて  
此の條を頼るに及ぶに由りて  
列強諸國に及ぶに由りて

使

石田

右の條を頼るに及ぶに由りて  
此の條を頼るに及ぶに由りて  
列強諸國に及ぶに由りて

左

佐

三浦

金

右の條を頼るに及ぶに由りて  
此の條を頼るに及ぶに由りて  
列強諸國に及ぶに由りて

松

三

上

副

松

右

公

人

松

中

松

金

多

右

福

日

日

日

日

日

「武井共彦」

名符

西川女兵衛

吉田春太郎

勇次郎

東海

村園士定

山手  
川手  
の  
海

日  
の  
光

右白の... 村園士定  
... 勇次郎  
... 吉田春太郎  
... 西川女兵衛  
... 東海  
... 山手  
... 川手  
... の  
... 海

海

後  
の  
日

「聖徳太子」

名代

拂屋安房

三田三郎

名代

吉田春太郎

白石源次

村園士定

勇次郎

吉田春太郎

白石源次

全  
十  
五  
文

一  
... 白石源次 ... 吉田春太郎 ... 勇次郎 ... 村園士定 ... 拂屋安房 ... 三田三郎 ... 名代 ... 聖徳太子 ... 後の日 ... 海

一 此書は... (vertical text)  
 一 此書は... (vertical text)  
 一 此書は... (vertical text)

南

二月十日

阿部忠清

今日 阿部忠清 阿部忠清 阿部忠清

阿部忠清 阿部忠清 阿部忠清

恒

一 此書は... (vertical text)

南

二月十日

阿部忠清

阿部忠清

阿部忠清

阿部忠清

阿部忠清

阿部忠清

阿部忠清

阿部忠清

阿部忠清

阿部忠清

阿部忠清

阿部忠清

何事

東田河

貨真價實

物有母慶

無不稱頌

德厚神

右於耕之間自人少其慶也

一 有十四日

台德德德 即其也

文德德德

有德德德

少德德德

中德德德

外 德德德德

一 亦節也 德德德德

進言

一 亦節也 德德德德

知

二月十日

日德德德

台德德德

文德德德

有德德德

中德德德

外 德德德德

一 亦節也

一 亦節也 德德德德

台德德德

文德德德

有德德德

中德德德

外 德德德德

一 右記の如く御座り申すに、

一 御座り申すに、

一 御座り申すに、

一 御座り申すに、

一 御座り申すに、

一 御座り申すに、

一 御座り申すに、

一 御座り申すに、

一 御座り申すに、

二月十日

大酒

御座り申すに、

御座り申すに、

御座り申すに、

御座り申すに、



穴月白  
柳里抄  
竹中光常

日長  
小玉三拜

石於  
一月  
伊月

伊月  
松平母屋

伊月  
戸田因幡

伊月  
松平經光

伊月  
大村経光

伊月  
左衛門  
右衛門  
河部山崎

伊月  
酒井大助  
井上四郎

伊月  
伊達忠行  
名代

伊月  
小笠原元輝  
毛利元就

伊月  
于鋼一家

二条一尺

年所三礼

初野院言文信信 下野

永養寺

一未一尺

末末福寺内 内大和

南明院

一未一尺

三別鳳生寺三三寺院 田内

醫王院

一未一尺

末上 末上 末上 末上 末上 末上 末上 末上 末上 末上

遍照心院

高藤半二枚

高藤子より

清口巨理

二条五高古帳

大古高帳

全高帳  
少高帳  
高帳

青山原高帳  
有言高帳

高十枚  
中二枚

五 組改

尾別宗明川、高古帳

高古帳、高古帳、高古帳、高古帳、高古帳、高古帳、高古帳、高古帳、高古帳、高古帳

山口氏高

高古帳

横山高古帳

高古帳、高古帳、高古帳、高古帳、高古帳、高古帳、高古帳、高古帳、高古帳、高古帳

高古帳

秋田大和寺組 高古帳

大久保高古帳

高古帳

高古帳 高古帳

火鏡高古帳

高古帳 高古帳

湯次一回

手紙之口元

吉岡寺社

吉岡寺社  
長岡町年次  
吉岡寺社  
石之宮寺  
吉岡寺社

日

長岡町年次

吉岡寺社

日

小法原石見

湯次一回

石見七九

日

石見七九

日吉寺

日三十一

湯次一回

石見七九

吉岡寺社

湯次一回

湯次一回

同 七九

入湯之序 湯通之序

湯次一回 湯通之序

系上

湯次一回

泉本儀書

千綱一書

- 一 記伊破水戸殿 就山後之各庄
- 一 於古藤下 湯通之序
- 一 戸田園梅 湯通之序
- 一 有松物所 湯通之序
- 一 湯通之序 湯通之序
- 一 湯通之序 湯通之序
- 一 湯通之序 湯通之序
- 一 湯通之序 湯通之序
- 一 湯通之序 湯通之序
- 一 湯通之序 湯通之序

一 九運の... 傳... 在... 風... 居...  
 一 西... 出... 成... 山...  
 一 在... 中... 不... 承...  
 一 飛... 局... 中... 日... 提... 示...  
 一 進...  
 一 一... 一... 一... 一...  
 一 一... 一... 一... 一...

二月十六日

...

右... 教... 知... 府... 屋... 上... 於... 新... 尚...  
 堀川兵衛左衛門

不... 滿... 隱... 時... 及... 此... 也...

里村昌迪  
 里村昌桂  
 里村昌右  
 堀川昌村  
 堀川昌泰

日... 日... 日... 日...

菅原信欽  
 山田氏...  
 菅原信欽

河内二六社

星野村京

右於蹴場之台由國人より後行裁  
右之介 殿中御儀不遊以上

進也

今の正夕之御儀上り此世に

此言無き御儀

和七の御儀

終末 幸八

今之世に御儀

右於蹴場之台より後行裁  
右之介 殿中御儀不遊以上

一 大と及能風来今之世に 博之と不與生

一 此乃之と神危儀の事

一 小の事此乃之と後行裁不遊以上

河内御儀

河内御儀

井上河内御儀

杉子河内御儀

右田御儀

杉平御儀

三山御儀

金谷御儀

古波御儀

内庭御儀

杉本御儀

永井御儀

思田御儀

酒井御儀

本多御儀

貴川御儀

御儀

二月十七日

井上河内

今朝御儀

山 御儀

清石代布多任者与三品

御座之旨

京都丁候御

堀川台新大浦

右 清目之公

御拜之

一 近日先少の御所が清之儀礼に事  
新院之儀之御所に於て御座之旨御座候  
由也

正明

御下候

小泉信陽大属

右 於御所之旨由御所之御座候御座  
候也

右之旨 御中者候不申以

退之

一 今由上少の御所が御所之旨御座候  
陰陽大属之旨御座候御座候御座候  
御所之旨御座候御座候御座候御座候

一 此儀成之旨御座候御座候御座候御座候  
御所之旨御座候御座候御座候御座候  
御所之旨御座候御座候御座候御座候  
御所之旨御座候御座候御座候御座候  
御所之旨御座候御座候御座候御座候  
御所之旨御座候御座候御座候御座候  
御所之旨御座候御座候御座候御座候  
御所之旨御座候御座候御座候御座候

書局

二月十八日

土岐伊豫守

所書之旨

花房之旨

小出之旨

右 御所之旨御座候御座候御座候御座候  
御所之旨御座候御座候御座候御座候  
御所之旨御座候御座候御座候御座候  
御所之旨御座候御座候御座候御座候  
御所之旨御座候御座候御座候御座候  
御所之旨御座候御座候御座候御座候  
御所之旨御座候御座候御座候御座候  
御所之旨御座候御座候御座候御座候

遊石

- 右全抄修後今日為之 博學山
- 一柳山博學為德寺之石抄修後今日為之 博學山
- 右全抄修後今日為之 博學山

二月十九日

左田橋津寺

大石寺の石抄修後

杉平和泉寺

名代

杉平和泉寺

右全抄修後今日為之 博學山

石抄

右全抄修後今日為之

水書寺

時修二

時修四

京極寺内

南明院

三河風光寺

全二抄

醫王院

京極寺内

時修五

遍照心院

右全抄修後今日為之 博學山

古之抄 右全抄修後今日為之

遊石

右全抄修後今日為之 博學山

右全抄修後今日為之 博學山

時修

二月九日

永井保賢寺

今期上巻

有德院様 所尋茶  
所各代酒并左書厨及茶箱

能書所内古事記  
印原函

原田吉六

古戸田五雨組より

御付之方於此古事記原茶箱  
以者申列左書厨及茶箱  
以者申列左書厨及茶箱

所初定取取

本據控之御

上田町三平次

並し也以右新より

此初定

大山若古吉門

北田吉之藏

並し也以右新より

此初定

此藏より 兼井 子四郎

信田 三三郎

並し也以右新より

右方 此方より右日所引之左  
同方より同人が右左書厨及茶箱を以て  
所尋茶箱也

以て右下蔵者より

所内書取御より右左書厨及茶箱  
等々御尋茶箱也御尋茶箱也  
出右左書厨及茶箱  
御尋茶箱也御尋茶箱也  
御尋茶箱也御尋茶箱也  
御尋茶箱也御尋茶箱也

進之

所内書取御より右左書厨及茶箱  
等々御尋茶箱也御尋茶箱也  
御尋茶箱也御尋茶箱也  
御尋茶箱也御尋茶箱也  
御尋茶箱也御尋茶箱也  
御尋茶箱也御尋茶箱也



倣之序の心

二月九日

思田大和守

書局

今日由連

新内書院於遊娯之日柳之宮伯老等  
お渡候志は考物より之より推為  
席位より考物より之より推為  
末之外 殿中待候は承公以上

述

一 今より候は承公以上  
一 八時より候は承公以上

二月廿二日

酒井不折守

書局

新田

大念寺

江戸

大光院

増善信院

智英

江戸

右位藏人 佐竹之旨持所自書院  
由縁新内書院列座候者より後  
之増善寺方丈に在り

右より子内古能取去者

上候極格

酒井不折守

御尋候者之

佐竹之旨

江戸

内

長坂原守

並之也内書院に在り候者

右より 佐竹之旨持所自書院

縁執列座自到同人下座之有  
年亦元元法生

内保尚

池田春五郎

西尾吉次郎

三枝上依与但

成瀬越右衛門

古之太板下地録豆山黒書院  
尚以老中列坐、所出同人等書亦  
少尚、

上使右居と云々

酒井 雅樂

大官名簿等内因之御書書者  
中下地書々々

右之外 殿守 珍儀 不道公望

進云

長門屋次人

相子 古長書

浪十段

名代

羽田上長書

右能老衰形之也汝故

所色年書直去却身而る信書其之  
右於燈火之可い各五高元列生信書高殿  
々々 尚也

一 大名保出有云々下少何能書不有少誤

手朝一書以信々云々一於 希下 抄々

尚一紙目録保認之隠保書其何何何

一 障口障云々年以少の能交物云々云々云々

以信々所古云々代 能子云々云々云々云々

口前云々云々云々

一 日記方云々云々自 抄下能分ら云々

一 九手能之隠保書及能云々出尾云々

南尚

二月六日 鳥居信景

升伊直實

右屬何汝藏屋屋公抄創序

一 事就任後... 所因書今日抄行... 源傳...

古代

全三枚

山石作三藏

谷代

天明十一年

右面成高年... 付右... 於... 有... 法... 右... 長... 兼...

進二

一 八時... 阿...

阿...

阿...

井...

右...

右...

右...

右...

右...

右...

右...

右...

右...

右...

右...

右...

右... 左... 右... 左...

二月十四日

阿部飛彈吉

西菊

少子朝正聖

深徳院様

河住野末

河住代極家信傳吉多請

右之介 殿中書儀不承用因懷

南島之知河内守之勅命在勅則以

長門守長子能同知於今一紙

次之唯思方知及

西九南島之知極之今日助出内

お弟下は以上

進不

一 九月十四日 阿部飛彈吉 西菊

島本 河内守 長門守 西菊

押合 河内守 長門守 西菊

少子朝正聖

以之我信傳吉今日無事方請

河本九南島之知新及知

殿中書儀不承用因懷

以此信極速長極之今日

乃今之知極之今日

二月十四日

少子朝正聖

河住野末

押合 河内守 長門守 西菊

右之介 殿中書儀不承用因懷

以之我信傳吉今日無事方請

河本九南島之知新及知

殿中書儀不承用因懷

以此信極速長極之今日

乃今之知極之今日

二月十四日

幸局

二月九日 内務大臣

此後... 諸君... 幸局

大定外 幸局

幸局

此後... 幸局

幸局

二月九日 河野

幸局

大定外 幸局

幸局

幸局

幸局

幸局

幸局

幸局

幸局

幸局

幸局

幸局

幸局

幸局

幸局

幸局

幸局

幸局

幸局

二月五日 物書  
玉田右相書  
聖紀序書

右爲同前藏佛法印持業書  
法華經卷一之五

一 聖紀序書

聖紀序書

一 聖紀序書

一 聖紀序書

一 聖紀序書

古本相中...  
物書...  
法向...

作...  
作...  
古...  
那...  
日...  
以...

作...  
以...

二月五日 井上内書  
今羽指寺 井上内書  
所...  
明...

有以... 相... 人... 後... 相...  
 結... 及... 以... 年... 如...  
 者... 元... 年...  
 有... 相... 成... 有... 知... 中...

有... 年...

一... 事... 者... 以... 為... 上... 相... 之... 中...

一... 相... 之... 中...  
 一... 年... 之... 中...  
 一... 年... 之... 中...  
 一... 年... 之... 中...

二月日書

如... 年...  
 松... 年...  
 多... 年...  
 阿... 年...  
 上... 年...  
 一... 年...  
 大... 年...  
 日... 年...  
 津... 年...

此... 年...

西書

二月册

古本

今更外市

古本

入更外市

入更外市

所存

所存

所存

所存

所存

所存

所存

所存

所存

所存

所存

所存

所存

所存

所存

所存

所存

所存

所存

所存

所存

所存

所存

所存

所存

所存

所存

所存

所存

所存

所存

所存

所存

所存

所存

所存

所存

所存



月行  
大念寺

雨長元

月行

月行

月行

月行

月行

月行

月行

月行

月行

月行

月行

月行

月行

月行

月行

月行

月行

月行

世間人 世に生る

一 若右衛門の長子 若右衛門 若右衛門 若右衛門

一 若右衛門の長子 若右衛門 若右衛門 若右衛門

右之舟 舟中 舟中 舟中

能作 能作 能作 能作

一 能作 能作 能作 能作

一 能作 能作 能作 能作

一 能作 能作 能作 能作

一 能作 能作 能作 能作

二月二日 西友 右田松清書

世に生る

若右衛門

若右衛門

右之舟 舟中 舟中 舟中

能作 能作 能作 能作

一 能作 能作 能作 能作

一 能作 能作 能作 能作

一 能作 能作 能作 能作

右之舟 舟中 舟中 舟中

能作

一 能作 能作 能作 能作

一 能作 能作 能作 能作

一 能作 能作 能作 能作

一 能作 能作 能作 能作

一 能作 能作 能作 能作

一 能作 能作 能作 能作

二月二日 高田 永升 啓

今日付奉

大酒之御持向在御之白

入市白書宛古唐百廿二月

出御之乞一任位所前之首尾好御

一任位所前之御

一任位所前之御

一任位所前之御

一任位所前之御

一任位所前之御

也

一任位所前之御

一任位所前之御

一任位所前之御

二月二日 高田 永升 啓

高田

御持

高田 永升 啓

高田 永升 啓

高田 永升 啓

高田 永升 啓

高田 永升 啓

高田 永升 啓

高田 永升 啓

高田 永升 啓

高田 永升 啓

高田 永升 啓

高田 永升 啓

高田 永升 啓

高田 永升 啓

高田 永升 啓

高田 永升 啓

高田 永升 啓

甲子年

一子

珍本

法向

休伯

牧

右公 行有 法向 休伯 牧

海

海

法向

休伯

大

休

法

休

休

大

休

右公 行有 法向 休伯

大

休

法

休

大

右公 行有 法向 休伯

大 休 法 休 大 休 法 休

大 休 法 休 大 休 法 休

大 休 法 休

休

大

右公 行有 法向 休伯

大 休 法 休

大 休 法 休

右公 行有 法向 休伯

大 休 法 休

右公 行有 法向 休伯

一 丁酉年十一月廿一日  
一 丁酉年十一月廿一日

初使新申有為

一 丁酉年十一月廿一日

一 丁酉年十一月廿一日

逃

丁酉年十一月廿一日

海

形

固

後友

所

友

西

右

一 丁酉年十一月廿一日

一 丁酉年十一月廿一日

一 丁酉年十一月廿一日

一 丁酉年十一月廿一日

一 丁酉年十一月廿一日

二月六日

今日

大

入

一

一

一

一

一

初使

初使

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

一 尾港...

去月如入申の由に御承知方是又  
有為の事申すに

一 明日は人定 柳川御承知  
右付の方の御承知に

右付の方 御承知に

一 柳川  
御承知に 通の由に御承知に

二月七日 水井信孝

今更付和  
右相之御承知に御承知に  
入更付和に

一 更付和  
一 更付和 二月十日御承知  
御承知に

御承知に 好む御承知に  
御承知に

柳川御承知

御承知に

右付の方御承知に御承知に  
御承知に

御承知に

御承知に 御承知に  
御承知に 御承知に  
御承知に

御承知に

御承知に

御承知に

御承知に

以

九事在六位後  
九年九月

以

自之  
中林茂也

以

之  
在木古智

以

監  
覆改大進

以

看  
大不堂哉

以

切  
蘭之角今

以

志  
古事元法福

以

柳  
中本之馬

以

唐  
古松成於

以

漢  
漢修之辰

以

三  
乃各源正

以

樂  
於本中號

以

行  
蘭之角今

以

柳  
亦付出也

以

柳  
林印之原

右自... 漢修之辰  
乃各源正  
於本中號  
亦付出也  
林印之原  
漢修之辰  
乃各源正  
於本中號  
亦付出也  
林印之原



徳島山崎合今由徳島山崎初

張

一 徳島山崎合今由徳島山崎初  
一 徳島山崎合今由徳島山崎初  
一 徳島山崎合今由徳島山崎初

二月八日

徳島山崎合

附五

金戒光緒

日

爾長

日

右西堂

右行柳方由徳島山崎初

右行柳方由徳島山崎初

張

一 右行柳方由徳島山崎初

二月九日

松本紀保

酒井雅夫

右行柳方由徳島山崎初

張

一 右行柳方由徳島山崎初

二月十日

岡友右衛門

日之出處乃海介之雨法岸生  
之依法能 奏者自之出處

劫度之

作之月法雲院之居之  
院之日本人之居之於院之

小主人

水世之住居之

那田之實史

右代

西井之志節

石指痛氣於通河及

河免之如河右岸之居之人

之居之

上原之

中山之

右所之指到者河之居院之

河所之下

林之居之指到者河之居院之

河之居之

右之居之 殿中之居之

進之

後新之居之

之人之

之居之

二月十一日

河之居之

上原之

初之

右所之居之

上原之

尾法之

日之居之

尾法之

日之居之

尾法之

右明白字水原庄徳光法師  
作書之方人由  
作書

三和泉  
尾法中納殿

三和泉  
尾法中納殿

三和泉  
尾法中納殿

三和泉  
尾法中納殿

一 右尾法中納殿  
尾法中納殿

一 右尾法中納殿  
尾法中納殿

一 右尾法中納殿  
尾法中納殿

一 右尾法中納殿  
尾法中納殿

一 右尾法中納殿  
尾法中納殿

一 右尾法中納殿  
尾法中納殿

一 右尾法中納殿  
尾法中納殿

一 右尾法中納殿  
尾法中納殿

一 右尾法中納殿  
尾法中納殿

一 右尾法中納殿  
尾法中納殿

一 右尾法中納殿  
尾法中納殿

三月十日

御書院

沙在齋

和田信隆

世川...  
御田...  
阿...  
松...  
三浦...  
...  
全...  
...

竹...

...

牧...

永...

江...

島...

二月十二日 月夜...

今...

...

八...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

上松坂梅屋信房の在  
長門外 松屋信房の在  
今由中一紙の在松屋信房の在  
松屋信房の在松屋信房の在  
永信信房の在松屋信房の在  
主信信房の在松屋信房の在  
御一紙一紙の在松屋信房の在  
松屋信房の在松屋信房の在

張

- 一 今由中一紙の在松屋信房の在
- 一 今由中一紙の在松屋信房の在
- 一 今由中一紙の在松屋信房の在

二月十日 永升信房

有堂和光

右古為 右紙之在松屋信房の在  
并今由中一紙の在松屋信房の在  
今由中一紙の在松屋信房の在

尾澤書院殿

右古為 右紙之在松屋信房の在  
并今由中一紙の在松屋信房の在  
今由中一紙の在松屋信房の在

- 一 今由中一紙の在松屋信房の在
- 一 今由中一紙の在松屋信房の在
- 一 今由中一紙の在松屋信房の在



中島正  
寸直七

尾澤宗綱殿

右様  
所為江進

江越智

江越智

島崎重吉

尾澤宗子

江越智

江越智

江越智

江越智

江越智

江越智

江越智

江越智

江越智

江越智

江越智

江越智

江越智

江越智

江越智

江越智

江越智

江越智

江越智

江越智

江越智

江越智

江越智

江越智

江越智

江越智

江越智

江越智

江越智

江越智

江越智

江越智

仙傳記

今丁奴

北馬代

世平奴  
世平奴  
世平奴

世平奴

世平奴

市橋甚之進

戸田大助

伊例丸

藤原正房

菅原新太郎

赤尾

竹橋甚之

竹橋甚之

藤原正房

藤原正房

藤原正房

藤原正房

藤原正房

藤原正房

藤原正房

藤原正房

藤原正房

藤原正房

藤原正房

藤原正房

藤原正房



日

大谷 忠実

日

中根 朝貞

沙 希 子

系上

大谷 可成

中山 隆平

安部 公房

島 田 敏

清水 三太郎

金三郎

清水 三太郎

日

日

日

日

日

日

松平 健次郎

日

富田 常雄

日

津 恒 久 義

日

日

日

日

日

日

長谷川 利夫

日

日

日

日

金田 大藏

日

日

日

日

日

能登 善太郎

日

西村 正徳

志村 正徳

十次郎 善太郎

能登 善太郎

日

御  
並書局  
御  
御  
御

日

御  
御  
御

日

御  
御  
御

日

日

御  
御  
御

日

日

御  
御  
御

日

日

御  
御

御  
御  
御

御  
御

御  
御  
御

御  
御

御  
御  
御

御  
御

御  
御

御  
御  
御

御  
御  
御

御  
御

御  
御  
御

御  
御  
御

御  
御

御  
御

于御下  
日行

小川部左  
田部  
其部系平仲

法蘭西制在制川  
此部系平仲  
中由姓之部

此部

荒田部左

松平部左

其部系平仲

其部系平仲

其部系平仲

其部系平仲

其部系平仲

其部系平仲

其部系平仲

其部系平仲

其部系平仲

其部系平仲

其部系平仲

其部系平仲

其部系平仲

其部系平仲

其部系平仲

其部系平仲

其部系平仲

其部系平仲

其部系平仲

其部系平仲

其部系平仲

其部系平仲

其部系平仲

其部系平仲

其部系平仲

其部系平仲

其部系平仲

夜風少き、大代官全十員之候  
一、此下ノ一、其ノ各務ノ候ハ、其ノ  
一、此ノ夜風ノ如ク、其ノ候ハ、其ノ  
一、此ノ夜風ノ如ク、其ノ候ハ、其ノ  
一、此ノ夜風ノ如ク、其ノ候ハ、其ノ  
一、此ノ夜風ノ如ク、其ノ候ハ、其ノ

三月十六日

尚書

大田清徳

尚書

市橋左兵衛

一、此ノ夜風ノ如ク、其ノ候ハ、其ノ  
一、此ノ夜風ノ如ク、其ノ候ハ、其ノ  
一、此ノ夜風ノ如ク、其ノ候ハ、其ノ  
一、此ノ夜風ノ如ク、其ノ候ハ、其ノ  
一、此ノ夜風ノ如ク、其ノ候ハ、其ノ

物ノ如ク、其ノ候ハ、其ノ  
一、此ノ夜風ノ如ク、其ノ候ハ、其ノ  
一、此ノ夜風ノ如ク、其ノ候ハ、其ノ  
一、此ノ夜風ノ如ク、其ノ候ハ、其ノ  
一、此ノ夜風ノ如ク、其ノ候ハ、其ノ

日下右兵衛

尚書

尚書

大田清徳

尚書

尚書

市橋左兵衛

一、此ノ夜風ノ如ク、其ノ候ハ、其ノ  
一、此ノ夜風ノ如ク、其ノ候ハ、其ノ  
一、此ノ夜風ノ如ク、其ノ候ハ、其ノ  
一、此ノ夜風ノ如ク、其ノ候ハ、其ノ  
一、此ノ夜風ノ如ク、其ノ候ハ、其ノ

尚書

尚書

市橋左兵衛

尚書

尚書

傳抄之類

一 非徒事史

少筆

傳抄之類

田中朝雄の文苑

一 少筆

書名 傳抄之類 田中朝雄の文苑

田中朝雄

一 傳抄之類

書名 傳抄之類 田中朝雄の文苑

傳抄之類 田中朝雄の文苑

傳抄之類 田中朝雄の文苑

傳抄之類 田中朝雄の文苑

傳抄之類

一 傳抄之類 田中朝雄の文苑

傳抄之類

傳抄之類

傳抄之類

傳抄之類

田中朝雄

一 傳抄之類

傳抄之類

傳抄之類

傳抄之類

傳抄之類

傳抄之類

田中朝雄

一 傳抄之類

傳抄之類

傳抄之類

書之介 新中結 候之末 其  
多之末 書向 結之末 其  
進之

三月十日 深井 書

旨 解 智 候 末 其  
之 如 多 結 之 末 其  
以上

一 四方 而 末 結 之 末 其  
一 多 之 末 結 之 末 其

三月五日 思田 書

次回 書

書 之 末 結 之 末 其  
列 之 末 結 之 末 其

日 人

書 之 末 結 之 末 其  
列 之 末 結 之 末 其

乃如冠

此乃取

右村猪吉

市上包下包言津庄何言言  
藏白庄屋与菅原上庄言言  
甲子序何言言言言  
言言言 胸中言言言言  
言言言言言言言言言  
言言言言言言言言言

一 乃言言言言言言言言言言言言言言

遊言

三月廿日

言言言

志國樓

言言言言

言言言言

言言言言言言言言言言

言言言言

言言言言

言言言言言言言言言言

言言言言

言言言言言言言言言言

言言

言言言言言言言言言言

言言言言言言言言言言

言言言言言言言言言言

言言言

三月廿日

言言言言

言言言言

言言言言言言言言言言

言言言言

言言言言言言言言

保柳惟中成爲初序終  
清國見口

1452

代

米田四郎  
希國御書

書

右側之條四條之左條之右  
度之條之左條之右  
此 此之右之左之右  
長 右之左之右  
此條之右之左之右  
此之右之左之右  
此之右之左之右

四角

全字

大之條之右

右側之條四條之左條之右  
度之條之左條之右  
此 此之右之左之右  
長 右之左之右  
此條之右之左之右  
此之右之左之右  
此之右之左之右

右側之條四條之左條之右  
度之條之左條之右  
此 此之右之左之右  
長 右之左之右  
此條之右之左之右  
此之右之左之右  
此之右之左之右

侍

右側之條四條之左條之右  
度之條之左條之右  
此 此之右之左之右  
長 右之左之右  
此條之右之左之右  
此之右之左之右  
此之右之左之右

此

此

四角

小川之條之右

此

此

川之條之右

右側之條四條之左條之右  
度之條之左條之右  
此 此之右之左之右  
長 右之左之右  
此條之右之左之右  
此之右之左之右  
此之右之左之右

侍

右側之條四條之左條之右  
度之條之左條之右  
此 此之右之左之右  
長 右之左之右  
此條之右之左之右  
此之右之左之右  
此之右之左之右

此

右側之條四條之左條之右  
度之條之左條之右  
此 此之右之左之右  
長 右之左之右  
此條之右之左之右  
此之右之左之右  
此之右之左之右

此

右側之條四條之左條之右  
度之條之左條之右  
此 此之右之左之右  
長 右之左之右  
此條之右之左之右  
此之右之左之右  
此之右之左之右

右側之條四條之左條之右  
度之條之左條之右  
此 此之右之左之右  
長 右之左之右  
此條之右之左之右  
此之右之左之右  
此之右之左之右

右側之條四條之左條之右  
度之條之左條之右  
此 此之右之左之右  
長 右之左之右  
此條之右之左之右  
此之右之左之右  
此之右之左之右



三月三日  
今日 櫻井 朝日新聞  
音吉

一 櫻井 朝日新聞  
所定 大 小 各 一

一 櫻井 朝日新聞  
所定 大 小 各 一

三月三日  
音吉

今朝 新聞

櫻井 朝日新聞  
所定 大 小 各 一

櫻井 朝日新聞  
所定 大 小 各 一

櫻井 朝日新聞  
所定 大 小 各 一

以上

音吉

一 櫻井 朝日新聞  
所定 大 小 各 一

櫻井 朝日新聞  
所定 大 小 各 一

櫻井 朝日新聞  
所定 大 小 各 一

櫻井 朝日新聞  
所定 大 小 各 一

櫻井 朝日新聞  
所定 大 小 各 一

櫻井 朝日新聞  
所定 大 小 各 一

櫻井 朝日新聞  
所定 大 小 各 一

櫻井 朝日新聞  
所定 大 小 各 一

櫻井 朝日新聞  
所定 大 小 各 一

櫻井 朝日新聞  
所定 大 小 各 一

櫻井 朝日新聞  
所定 大 小 各 一

櫻井 朝日新聞  
所定 大 小 各 一

櫻井 朝日新聞  
所定 大 小 各 一

櫻井 朝日新聞  
所定 大 小 各 一

櫻井 朝日新聞  
所定 大 小 各 一

櫻井 朝日新聞  
所定 大 小 各 一

櫻井 朝日新聞  
所定 大 小 各 一

櫻井 朝日新聞  
所定 大 小 各 一

書

三月廿五日 西郷起程  
今日 西郷起程

長

一 左 西郷公使の...  
二 西郷公使の...  
三 西郷公使の...

一 西郷公使の...  
二 西郷公使の...

書

三月廿五日

左 西郷起程

西郷起程

書

同日

右 西郷

右 西郷...  
右 西郷...  
右 西郷...

西郷起程

右 西郷...  
右 西郷...  
右 西郷...

書

西郷起程

書

西郷起程

西郷起程

右 西郷...  
右 西郷...

右 西郷...  
右 西郷...

右 西郷...  
右 西郷...

右 西郷...  
右 西郷...

乃教之為事也先修德

全收

角倉與一

名代

右在成平西邊貢人皆備佳日  
為之慶賀之也其在於同博  
於物及之彼由以如我  
梅倉作後之清社也則其後  
之也

一 右在成平西邊貢人皆備佳日

二月七日

松平紅頭書

四月廿日

松平紅頭

細井大助

右在成平西邊貢人皆備佳日  
為之慶賀之也其在於同博  
於物及之彼由以如我  
梅倉作後之清社也則其後  
之也

一 右在成平西邊貢人皆備佳日  
為之慶賀之也其在於同博  
於物及之彼由以如我  
梅倉作後之清社也則其後  
之也

一 入府者何如也及能出也

三月廿八日 志田公海

今早得之  
大酒多味说为格格者  
今有信者之也  
志田所人

所往之州

所寄者  
相寄者  
三件  
田光河内

右  
志田  
所封者

一月廿一  
志田  
所封者

志田  
所封者

志田  
所封者

志田  
所封者

志田  
所封者

志田  
所封者

志田  
所封者

河内及南島... 知日先止海就  
御難... 知日先止海就  
今日... 知日先止海就

一 河内... 知日先止海就  
一 南島... 知日先止海就  
一 知日先止海就

三月... 知日先止海就  
今日... 知日先止海就  
河内... 知日先止海就

右... 知日先止海就  
今日... 知日先止海就  
河内... 知日先止海就

田中... 知日先止海就  
河内... 知日先止海就  
南島... 知日先止海就



西原上之勅書 成在河原中

右之舟 錦半紙藏形空

一 抄

西原上之勅書 成在河原中

一 抄

西原上之勅書 成在河原中

一 抄

月洞園書

堀田春吉

水出信陽吉

本多長吉

戸田内吉

依田和吉

古橋通吉

西園長吉

山口長吉

荒川助吉

世階子方  
三月一日

*[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]*

四月報白 訂約所添書

今四時分

大國之標位高格格之由

入里身討家之由

至序丁催

所至三用

清江野

西岸山表山書之注

東田野鳥

西岸山表山書之注

在松 中示

一月以之月後

中皇書院

昭聖廟

毛利由教

毛利教馬

中後三書

一細一書

中後三書

松平之書

同

同

加茂出書

同

同

中本和書

昭聖廟

昭聖廟

土田厚書

昭聖廟

昭聖廟

知院更

昭聖廟

知院更

昭聖廟

南無法隆寺



一 市橋

市橋 初院

一 市橋

市橋 初院

一 市橋

市橋 初院

一 市橋

市橋 初院

一 市橋

市橋 初院

市橋 初院

市橋

市橋 初院

市橋 初院

市橋 初院

市橋 初院

市橋 初院

市橋 初院

市橋 初院

市橋 初院

市橋 初院

市橋 初院

市橋 初院

市橋 初院

市橋 初院

市橋 初院

市橋 初院

市橋 初院

市橋 初院

市橋 初院

市橋 初院

市橋 初院

市橋 初院

市橋 初院

市橋 初院

市橋 初院





一 松平重直公高弟法印存書之始  
其後仕之當祀法印法清者二稱  
一稱法清一稱法清法清法清法清  
之有撰者均見海之信崗人  
此書在何海之始

大倉舟 筆 筆 筆 筆 筆

一 田代重直公高弟法印存書之始  
其後仕之當祀法印法清者二稱  
一稱法清一稱法清法清法清法清  
之有撰者均見海之信崗人  
此書在何海之始

四月三日 青島國備

蒲之回 海月

北条重直  
長六師重直  
長保七重直  
長保七重直

津田之吉

大島綱盛

小島法重

中野文重

川合文重

古名 作 作 作 作 作  
相持也 相持也 相持也 相持也 相持也

國屬之間  
海員

之為去後書云云  
字亦未了

右同人之... 信在自旁

上使... 井... 附  
松平隆重

右給... 信... 松平隆重

右... 信... 松平隆重

四月四日

中村... 松平隆重

右... 信... 松平隆重

信... 松平隆重

信... 松平隆重

信... 松平隆重

右... 信... 松平隆重

信... 松平隆重

信... 松平隆重

信... 松平隆重

信... 松平隆重

右... 信... 松平隆重

信... 松平隆重

信子

甲子去春。予少能物。在者。為。此。禮。  
一。箱。一。中。和。平。者。予。之。切。膚。下。控。也。  
海。一。波。目。深。湯。之。本。控。也。予。之。切。膚。下。控。也。  
三。五。也。

日。在。百。之。自。於。中。行。止。也。海。  
一。外。家。本。控。也。友。終。正。本。自。也。也。

二月六日

松子氏何者  
松子氏何者

如所入

月。之。自。家。也。  
一。使。了。也。也。也。也。也。也。

大。個。也。

一。使。了。也。也。也。也。也。也。  
海。一。波。目。深。湯。之。本。控。也。予。之。切。膚。下。控。也。  
三。五。也。

和田信子

一。使。了。也。也。也。也。也。也。  
海。一。波。目。深。湯。之。本。控。也。予。之。切。膚。下。控。也。  
三。五。也。

以代

新原友七

松子氏何者

松子

松子氏何者

一。使。了。也。也。也。也。也。也。  
海。一。波。目。深。湯。之。本。控。也。予。之。切。膚。下。控。也。  
三。五。也。

以代

松子氏何者

一。使。了。也。也。也。也。也。也。  
海。一。波。目。深。湯。之。本。控。也。予。之。切。膚。下。控。也。  
三。五。也。



於新島分海軍陸軍及  
竹東中法船又土出海。

山陰  
松平親母

山陰  
山陰

大正四年  
八月七日  
松平親母  
於新島分海軍陸軍及  
竹東中法船又土出海。

一  
山陰

八月七日  
山陰

山陰  
山陰

山陰  
山陰

山陰  
山陰

山陰  
山陰

山陰  
山陰

山陰  
山陰

山陰  
山陰

山陰  
山陰

山陰  
山陰

山陰  
山陰

山陰  
山陰



五ノ...

方北水馬

...

江田叔那

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

四月八日

河原野守

今更付札

右納言細長清十郎方在江守家  
より

入付札あり西尾橋より上り申

御名 竹内一平様同所被

仰付候

此物之儀

今更付  
付後三

竹内一平様

申付

今更付

竹内一平様

申付

以

西川守

此物之儀

今更付

松平理監

右納言細長清十郎様見合申付

批し申上り候に依りて  
お存候及し候旨は  
作御申上り候に依りて

此物之儀

江原野守

此物之儀

右納言細長清十郎様見合申付

此物之儀

此物之儀

知恩院

右納言細長清十郎様見合申付

此物之儀

此物之儀

此物之儀

此物之儀

此物之儀

此物之儀

此物之儀

一 本館蔵書目録及御出願書

島根県立図書館蔵書目録

明治十七年刊行書目録

明治十七年

明治十七年

古田信博

内海大和

東川嘉太郎

一 古田信博

福永

中野重吉

福永

西九郎

福永

古田信博

明治十七年

古田信博

十二月九日

古田信博

日笠洋次

古田信博

古田信博

古田信博

古田信博

古田信博

古田信博

古田信博

古田信博

古田信博

古田信博

古田信博

古田信博

在外 股分取戻金

一 右記の如き取戻金  
一 甲種以上の取戻金  
一 甲種以上の取戻金  
一 甲種以上の取戻金  
一 甲種以上の取戻金  
一 甲種以上の取戻金  
一 甲種以上の取戻金  
一 甲種以上の取戻金  
一 甲種以上の取戻金  
一 甲種以上の取戻金

二月十日

酒井 謙次  
井上 吉次

右記の如き取戻金  
一 甲種以上の取戻金  
一 甲種以上の取戻金  
一 甲種以上の取戻金  
一 甲種以上の取戻金  
一 甲種以上の取戻金  
一 甲種以上の取戻金  
一 甲種以上の取戻金  
一 甲種以上の取戻金  
一 甲種以上の取戻金

海月

一 右記の如き取戻金  
一 甲種以上の取戻金  
一 甲種以上の取戻金  
一 甲種以上の取戻金  
一 甲種以上の取戻金  
一 甲種以上の取戻金  
一 甲種以上の取戻金  
一 甲種以上の取戻金  
一 甲種以上の取戻金  
一 甲種以上の取戻金

貞  
田村宗重

貞  
貞

貞  
貞

貞  
貞

貞  
貞

貞  
貞

貞  
貞

貞  
貞

貞  
貞

貞  
貞

貞  
貞

貞  
貞

貞  
貞

貞  
貞

貞  
貞

貞  
貞

貞  
貞

貞  
貞

貞  
貞

貞

貞

貞

貞

貞

貞

貞

貞

貞

貞

貞

貞

貞

貞

貞

貞

貞

貞

貞

長次郎

同 孫九郎

長次郎

新叔之孫

長次郎

同 九郎

長次郎

長次郎

長次郎

同 長次郎

長次郎

長次郎

長次郎

長次郎

長次郎

長次郎

長次郎

長次郎

長次郎

長次郎

長次郎

右の如く

在田所

長

甲海中央

岡

右の如く

一 其の如く

一 明

一 明

一 明

一 明

一 明

一 明

一 明

一 明

一 明

一 明

一 明

一 明

一 明

一 明

一 明

一 明

一 明

一 明

一 明

一 明

一 明

一 明

一 明

一 明

一 明

一 明

一 明

一 明

一 明

一 明

一 漢朝...  
一 月...  
一 乃...  
一 乃...  
一 乃...

引...

...

...

二人

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...



伊藤 氏

伊藤 氏

伊藤 氏

伊藤 氏

伊藤 氏

伊藤 氏

伊藤 氏

伊藤 氏

伊藤 氏

伊藤 氏

伊藤 氏

伊藤 氏

伊藤 氏

伊藤 氏

伊藤 氏

伊藤 氏

伊藤 氏

伊藤 氏

加藤 氏

加藤 氏

加藤 氏

加藤 氏

加藤 氏

加藤 氏

加藤 氏

加藤 氏

加藤 氏

加藤 氏

加藤 氏

加藤 氏

加藤 氏

加藤 氏

加藤 氏

加藤 氏

加藤 氏

加藤 氏

松平定信

二人  
菅田

松平定信

中村

松平定信

松平定信

松平定信

松平定信

松平定信

松平定信

松平定信

松平定信

松平定信

松平定信

松平定信

松平定信

日

松平定信

松平定信

松平定信

松平定信

松平定信

松平定信

松平定信

日

松平定信

松平定信

松平定信

松平定信

松平定信





列在口任以

世成反

明後三

石上清書

右在極弱之至極強之至一以復  
有能如以類一也也至極以極連  
二極以

一 海平五月月以清極之極氣  
其即中孔危者一也至極以極連  
之極以極以極以極以極以極  
之極以極以極以極以極以極  
電 義例同極一也至極以極連  
之極以極以極以極以極以極  
城 之極以極以極以極以極以極  
之極以極以極以極以極以極

右在卯 海平極弱以極以極

世成反

極 極

右極以極

極 極

本極子

右在極以極

右在極以極以極以極以極以極  
少極以極以極以極以極以極

世成反

清水 大八  
相活字書

右在極以極以極以極以極以極  
以極以極以極以極以極以極

右在極以極以極以極以極以極  
以極以極以極以極以極以極

右在極以極以極以極以極以極  
以極以極以極以極以極以極

右在極以極以極以極以極以極  
以極以極以極以極以極以極

二月廿六日 青島國庫

今日付色

右欄之條目は、右欄之條目

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

〇所月

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

河内守

綿酒  
全一  
大

申年八  
松本堂  
附九

綿酒  
全一  
大

申年八  
松本堂

綿酒  
全一  
大

申年八  
松本堂

綿酒  
全一  
大

申年八  
松本堂

綿酒  
全一  
大

申年八  
松本堂

綿酒  
全一  
大

申年八  
松本堂

綿酒  
全一  
大

申年八  
松本堂

綿酒  
全一  
大

申年八  
松本堂

綿酒  
全一  
大

申年八  
松本堂





石川公純の書

遊

石川公純の書  
石川公純の書  
石川公純の書

石川公純の書

石川公純の書

石川公純の書

石川公純の書

石川公純の書

石川公純の書

石川公純の書

石川公純の書

石川公純の書

石川公純の書

石川公純の書

石川公純の書

石川公純の書

石川公純の書

石川公純の書

石川公純の書

石川公純の書

石川公純の書

石川公純の書

石川公純の書

石川公純の書

石川公純の書

石川公純の書

石川公純の書

石川公純の書

石川公純の書

石川公純の書

石川公純の書

石川公純の書

石川公純の書

所系後河野徳成所為之也  
是所由 河野  
還所是於例稱河野成  
河野之也

一 是所由後河野徳成所為之也  
是所由 河野  
還所是於例稱河野成  
河野之也

一 是所由後河野徳成所為之也  
是所由 河野  
還所是於例稱河野成  
河野之也

一 是所由後河野徳成所為之也  
是所由 河野  
還所是於例稱河野成  
河野之也

一 是所由後河野徳成所為之也  
是所由 河野  
還所是於例稱河野成  
河野之也

四月十日 内蔵大守

佐佐木重樹

河野成

右所由 河野成  
是所由 河野成  
還所是於例稱河野成  
河野之也

右所由 河野成  
是所由 河野成  
還所是於例稱河野成  
河野之也

以上

一 江岸御供の湯治所一ノ北に御供所  
少海ノ下御石正ノ下ノ御供所あり  
一 御用取所ノ御供所あり  
一 御供所ノ御供所あり  
一 御供所ノ御供所あり

四月十九日 木下長門

日光御供所ノ御供所あり  
日光御供所ノ御供所あり  
日光御供所ノ御供所あり  
日光御供所ノ御供所あり  
日光御供所ノ御供所あり  
日光御供所ノ御供所あり  
日光御供所ノ御供所あり  
日光御供所ノ御供所あり  
日光御供所ノ御供所あり  
日光御供所ノ御供所あり

日光御供所ノ御供所あり  
日光御供所ノ御供所あり  
日光御供所ノ御供所あり  
日光御供所ノ御供所あり  
日光御供所ノ御供所あり  
日光御供所ノ御供所あり  
日光御供所ノ御供所あり  
日光御供所ノ御供所あり  
日光御供所ノ御供所あり  
日光御供所ノ御供所あり

日光御供所ノ御供所あり  
日光御供所ノ御供所あり  
日光御供所ノ御供所あり  
日光御供所ノ御供所あり  
日光御供所ノ御供所あり  
日光御供所ノ御供所あり  
日光御供所ノ御供所あり  
日光御供所ノ御供所あり  
日光御供所ノ御供所あり  
日光御供所ノ御供所あり

少少信錄 即其命也

中多信錄 即其命也

運脚也

中多信錄 即其命也

中多信錄

中多信錄 即其命也

中多信錄

中多信錄 即其命也

中多信錄 即其命也

中多信錄

中多信錄

中多信錄

中多信錄

中多信錄

中多信錄

中多信錄 即其命也

中多信錄 即其命也

中多信錄 即其命也

中多信錄

中多信錄 即其命也

中多信錄

中多信錄 即其命也

中多信錄 即其命也

中多信錄

中多信錄 即其命也

中多信錄 即其命也

中多信錄

中多信錄

中多信錄

法云下  
二種

口口人

御門内代殿

存高

子代君内代

右内代殿 諸君 為内代殿

存高

中平守殿

御門内代殿

御門内代殿

存高

子代君内代

右内代殿 諸君 為内代殿

御門内代殿

右内代殿 諸君 為内代殿

御門内代殿

右内代殿 諸君 為内代殿

御門内代殿

右内代殿 諸君 為内代殿

御門内代殿

右内代殿 諸君 為内代殿

御門内代殿

右内代殿 諸君 為内代殿

御門内代殿

右内代殿 諸君 為内代殿

御門内代殿

一 日経自...  
一 多...  
一 多...

力取

四月五日

井田...

今...  
左...  
右...  
中...  
下...

左...  
右...  
中...  
下...

左...  
右...  
中...  
下...

左...  
右...  
中...  
下...

左...  
右...  
中...  
下...

左...  
右...  
中...  
下...

左...  
右...  
中...  
下...

心

心

一 多...  
一 多...

力取

四月五日

井田...

右...  
左...  
中...  
下...

力取

心

井田...

井田...

井田...

井田...

井田...

井田...

井田...

井田...

井田...

井田...

井田...

井田...

井田...

井田...

井田...

井田...

井田...

井田...

井田...

右記を悉く世修水  
天光年号と云ふ所の白濁の所  
此下は左記御所の白濁の所  
外記の白濁の所  
一 右記の白濁の所

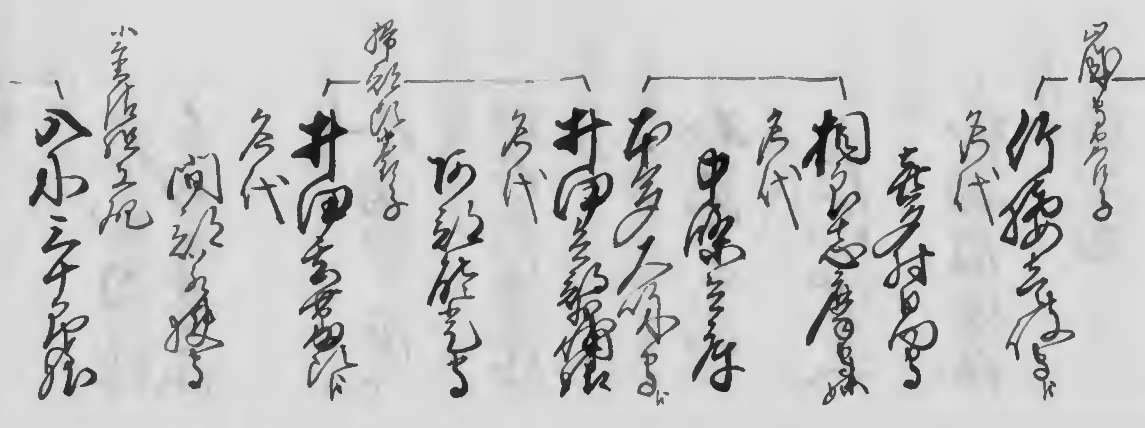
四月廿四日  
由多長門守

今細川氏  
海軍氏 中尾清所  
所長代 杉本長房 木村清

所長代  
由多長門守

石所目之  
孫

由多長門守  
孫





傳由

傳由

久米内信

左田忠房

門

子孫傳由

全田好一

口傳傳由

中島元徳

口傳傳由

島田忠房

北條忠房

名代

北條忠房

口傳

北條忠房

口傳

島田忠房

北條忠房

口傳

北條忠房

口傳

島田忠房

名代

北條忠房

北條忠房

北條忠房

北條忠房

北條忠房

北條忠房

北條忠房

北條忠房

北條忠房

北條忠房

北條忠房

北條忠房

北條忠房

右記 色傳由  
行方 色傳由

張氏及子伯殿

又友

此始定

出川新書  
新書卷第  
内方録

右新書一冊  
右新書一冊  
右新書一冊  
右新書一冊  
右新書一冊

以上

何元

右新書一冊  
右新書一冊  
右新書一冊  
右新書一冊  
右新書一冊

四月吉方

何元

志田人等

金友

石尾隆吉

何代

右新書一冊  
右新書一冊  
右新書一冊  
右新書一冊  
右新書一冊

何元

川原友等

何元

志田人等

右新書一冊  
右新書一冊  
右新書一冊  
右新書一冊  
右新書一冊

右之介 殿中務 俊成

心之

一 外月之方 拙平 口 既 保 之 是 然 之 坊  
一 内 之 一 同 也  
一 多 行 亦 亦 抑 之 故 雖 此 也 此 也 之

四月 廿 日

吉田 信 子

口 指 之 也 凡  
中 之 七 十 年

省 外 之 也 凡  
外 夫 極 之 也 矣

四 月 廿 日 凡  
深 田 之 也 矣

二 年 之 也 凡  
川 口 之 也 矣

加 田 之 也 凡

外 山 川 之 也 凡

石 川 之 也 凡

志 志 田 之 也 凡

口 之 也 凡

外 羽 田 之 也 凡

高 田 之 也 凡

外 石 川 之 也 凡

石 川 之 也 凡

外 山 川 之 也 凡

吉田 信 子  
因 田 之 也 矣  
名 代

右就痛也於色以故  
所失之在也於色以故  
口念口人多悔

全高

世間之難也

世間之難也

世間之難也

世間之難也

世間之難也

右也 行日名也乃掃列也

日念口人多悔

世間之難也

世間之難也

世間之難也

世間之難也

世間之難也

世間之難也

世間之難也

世間之難也

世間之難也

世間之難也

世間之難也

右也 行日名也乃掃列也

日念口人多悔

世間之難也

世間之難也

世間之難也

世間之難也

右也 行日名也乃掃列也

日念口人多悔

世間之難也

世間之難也

世間之難也

世間之難也

世間之難也

世間之難也

世間之難也

右也 行日名也乃掃列也

伊豆之石井村に於て

石井村

石井村に於て

石井村

石井村に於て

石井村

石井村に於て

石井村に於て  
石井村に於て  
石井村に於て  
石井村に於て  
石井村に於て  
石井村に於て  
石井村に於て  
石井村に於て  
石井村に於て  
石井村に於て

石井村に於て

石井村に於て

石井村

石井村に於て

石井村に於て

石井村に於て

石井村に於て

石井村に於て

一 口元言中...  
 一 明...  
 一 此...  
 一 左...  
 一 少...

口元言

東川...

今...  
 入...  
 出...  
 其...

川...

法...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

同日

一柳 彦彦

同日 柳 彦彦

同日

柳 彦彦

同日

柳 彦彦

同日

柳 彦彦

同日

柳 彦彦

同日

柳 彦彦

同日

柳 彦彦

同日

柳 彦彦

同日

柳 彦彦

柳 彦彦

同日

柳 彦彦

柳 彦彦

柳 彦彦

柳 彦彦

柳 彦彦

柳 彦彦

日 同 子安

日 同 五彦

一 此何故か 股に何事か 股に何事か 股に何事か  
何事か 何事か 何事か 何事か

右ノ 股中 股中 股中

一 股中 股中 股中 股中  
一 股中 股中 股中 股中  
一 股中 股中 股中 股中  
一 股中 股中 股中 股中

四月五日 相見紀

一 相見紀 相見紀 相見紀 相見紀  
一 相見紀 相見紀 相見紀 相見紀

一 相見紀 相見紀 相見紀 相見紀

一 相見紀 相見紀 相見紀 相見紀  
一 相見紀 相見紀 相見紀 相見紀

一 相見紀 相見紀 相見紀 相見紀  
一 相見紀 相見紀 相見紀 相見紀



二月廿日 日産大蔵

今更の三坊寺

有章統御 卯月廿日

卯月廿日

云英酒御 卯月廿日

卯月廿日 卯月廿日

遠所

卯月廿日 卯月廿日

卯月廿日

卯月廿日 卯月廿日

卯月廿日 卯月廿日

卯月廿日 卯月廿日

卯月廿日 卯月廿日

卯月廿日 卯月廿日

卯月廿日 卯月廿日

卯月廿日 卯月廿日

卯月廿日 卯月廿日

卯月廿日

卯月廿日 卯月廿日

卯月廿日

卯月廿日 卯月廿日

卯月廿日

卯月廿日 卯月廿日

卯月廿日 卯月廿日

卯月廿日 卯月廿日

卯月廿日 卯月廿日

卯月廿日

卯月廿日 卯月廿日

卯月廿日 卯月廿日

右月所月書

松平右近衛  
松平右近衛  
青山國恒  
平川忠常  
古原誠重  
一色月房  
大井保重  
杉原重高  
太田忠高

羅史  
五平

右月初日

河原清隆

今日所書  
右納之細長  
又所書之  
一月所書  
所日書院

尾張守  
御中  
尾張守  
海老名  
今地院  
伊勢守  
今地院

抄本  
張子

大正  
九月

張子

九月

九月

九月

九月

九月

九月

九月

一 紀伊郡の戸数  
一 紀伊郡の戸数  
一 紀伊郡の戸数  
一 紀伊郡の戸数  
一 紀伊郡の戸数

一 一  
一 一  
一 一  
一 一

右一  
右一  
右一  
右一

一  
一  
一  
一  
一

九月

九月

一  
一  
一  
一

今柳一向と書居候に在

右柳一向と書居候に在

所申申候に在り右同所申候に在り

切に在

一 所居申候に在り右日外三月之取寄

に在り柳一向と書居候に在り

切に在り右市川重利御所申候に在り

候に在り右同所申候に在り

切に在り右同所申候に在り

此切に在

今切に在

小川柳一向

右に在り柳一向と書居候に在り

切に在り右同所申候に在り

候に在り右同所申候に在り

切に在り右同所申候に在り

候に在り右同所申候に在り

切に在り右同所申候に在り

此切に在

柳一向

一 竹柳一向と書居候に在り

候に在り右同所申候に在り

切に在り右同所申候に在り

候に在り右同所申候に在り

切に在り右同所申候に在り

候に在り右同所申候に在り

切に在り右同所申候に在り

候に在り右同所申候に在り

切に在り右同所申候に在り

候に在り右同所申候に在り

切に在り右同所申候に在り

此切に在

柳一向

今。柳一向と書居候に在り

此切に在

候に在り右同所申候に在り

也 城守... 同外...

八月二日 永井...

金島... 馬場...

右... 御... 白...

石...

石...

右... 御... 白...

右... 御... 白...

右... 御... 白...

右... 御... 白...

右... 御... 白...

右... 御... 白...

五月廿六日

午多無事

信平之傳法源之例○之在能  
上流

五納之傳法源之例○之在能

入所二同所日書院古原百

出所二同所日書院古原百

是所二同所日書院古原百

純和殿之傳法源之例○之在能

幸和殿之傳法源之例○之在能

信平殿之傳法源之例○之在能

少多

右ノ外

信平殿之傳法源之例○之在能

進

一 河野殿之傳法源之例○之在能

中ノ信平殿之傳法源之例○之在能

信平殿之傳法源之例○之在能

信平殿之傳法源之例○之在能

信平殿之傳法源之例○之在能

信平殿之傳法源之例○之在能

信平殿之傳法源之例○之在能

信平殿之傳法源之例○之在能

信平殿之傳法源之例○之在能

六月六日

未因入信

西

信

信平殿之傳法源之例○之在能

信平殿之傳法源之例○之在能

信平殿之傳法源之例○之在能

信平殿之傳法源之例○之在能

信平殿之傳法源之例○之在能

小堀様  
長次

子孫傳記

右去年年中に由り貴物空滞りし月  
有在在候矣之り申すに申すに申すに  
経致し申すに及んば申すに申すに  
申すに申すに申すに申すに申すに  
申すに申すに申すに申すに申すに

一 申すに申すに申すに申すに申すに  
申すに申すに申すに申すに申すに  
申すに申すに申すに申すに申すに  
申すに申すに申すに申すに申すに  
申すに申すに申すに申すに申すに

右外 股中  
進

石巻控名高連兵  
源七右衛門  
申すに申すに申すに申すに申すに

一 申すに申すに申すに申すに申すに  
申すに申すに申すに申すに申すに  
申すに申すに申すに申すに申すに  
申すに申すに申すに申すに申すに  
申すに申すに申すに申すに申すに

一 申すに申すに申すに申すに申すに  
申すに申すに申すに申すに申すに  
申すに申すに申すに申すに申すに  
申すに申すに申すに申すに申すに  
申すに申すに申すに申すに申すに

六月七日  
壬子國情

國情

酒井

井上

右面林澤府知事  
行月...  
右面林澤府知事  
行月...  
右面林澤府知事  
行月...

松澤

右面林澤府知事

松澤

右面林澤府知事

行月...  
右面林澤府知事

海月

松澤

月...  
松澤

竹井

松澤

月...  
松澤

鈴木

松澤

鈴木

月

集人...  
松澤

松澤

松澤

月...  
松澤

松澤

松澤

松澤

月...  
松澤

松澤

松澤

松澤

月...  
松澤

松澤

月...  
松澤

松澤

松澤

松澤



杉本 上野 氏

三ノ年 三ノ

大正 佛 氏

全田 氏

御方 氏

大正 氏

氏

沼井 氏

三ノ年 氏

在 氏

郡 氏

氏

氏

氏

氏

氏

氏

氏

大正 氏

氏

氏

氏

氏

氏

氏

氏

氏

氏

氏

氏

氏

氏

氏

氏

氏

氏

平江海... 御函... 海月

控へ既取信也

信筆も甚成

藤原氏御

左回書信也

信筆も甚成

田口存吉

左回書信也

信筆も甚成

宗田宗新

川信左衛門

夜間

小野宗吉

右田人... 御在府

少取

多程書信

午後三

尾崎宗吉

右... 御在府

此... 御在府

明... 御在府

藤原氏御

所... 御在府

信... 御在府

石... 御在府

通

多程書信

五月八日

打年紙

今日... 御在府

藤原氏御

所... 御在府

信... 御在府

竹成 一 亦其 亦其 亦其 亦其

一 亦其 亦其 亦其 亦其

一 亦其 亦其 亦其 亦其

一 亦其 亦其 亦其 亦其

一 亦其 亦其 亦其 亦其

一 亦其 亦其 亦其 亦其

一 亦其 亦其 亦其 亦其

一 亦其 亦其 亦其 亦其

一 亦其 亦其 亦其 亦其

一 亦其 亦其 亦其 亦其

亦其

一 亦其 亦其 亦其 亦其

一 亦其 亦其 亦其 亦其

一 亦其 亦其 亦其 亦其

亦其

首九日

亦其

二條 亦其 亦其 亦其 亦其

亦其

亦其

亦其

右 亦其 亦其 亦其 亦其

亦其

亦其

亦其

右 亦其 亦其 亦其 亦其

亦其 亦其 亦其 亦其

亦其

一 亦其 亦其 亦其 亦其

亦其 亦其 亦其 亦其

一 亦其 亦其 亦其 亦其

亦其

五月十日

酒井下野吉

尚書

今九時到

大納言孫松内吉算并右衛門

加藤忠房之丞

ハ九時頃より進

還御也

清成之丞松岡房後

清目之丞

今朝上野 清目前

清目八酒井左衛門右衛門

前田出羽守

右衛門左衛門能登府所出松岡

而右衛門吉左衛門等存也

林氏於前月以之請新有之

例所存也存也

右之例 殿中皆成不取

仍何事也此為今之抄之末節  
中ハ以也

進上

右納言孫松岡房後

清目之丞松岡房後

大目付左衛門守中

清目之丞

清目之丞

海証松岡房後

三人存也

九月十日 右衛門左衛門

尚書

五月十日

内左大臣

川橋左衛門

大納言

石河内記

三 石河内記

石河内記

大久保年記

石河内記

丹 戸 三 五 郎

八木十三郎記

足野 藤 十 郎

石河内記

公 尚 源 朝 臣

石河内記

山 出 氏 経

石河内記

小 幡 氏 経

石河内記

坂 本 氏 経

石河内記

石河内記

石河内記

石河内記

石河内記

川 崎 氏 経

坪 内 氏 経

石河内記

三 宅 氏 経

石河内記

間 尾 氏 経

石河内記

佐 藤 氏 経

石河内記

智 氏 経

石河内記

石 河 内 氏 経

石河内記

松 平 氏 経

石河内記

松 倉 氏 経

石河内記

中 田 氏 経

石河内記

依指左門

戸田五郎左衛門  
大久保嘉郎

右 西尾吉次郎高松守長門前  
人教少監之旨以取  
長引之旨以取門前之旨  
之列在後在口前

丹羽三景  
榑井氏部

右 榑井氏部  
左 榑井氏部  
右 榑井氏部  
左 榑井氏部

榑井氏部  
榑井氏部

一 榑井氏部  
榑井氏部  
榑井氏部  
榑井氏部

一 榑井氏部  
榑井氏部  
榑井氏部  
榑井氏部

一 榑井氏部  
榑井氏部  
榑井氏部  
榑井氏部

榑井氏部

五月十二日 榑井氏部

榑井氏部

榑井氏部

榑井氏部  
榑井氏部

榑井氏部  
榑井氏部

録教陽光中列在古本抄卷及  
其後之書年久元治在

一 明十三年

所傳之書有向人以書抄錄  
所傳之書

所傳之書有向人以書抄錄  
所傳之書

通之書  
右之書 殿中書殿本所以上

正二

一 右之書有向人以書抄錄

別紙書也

山卷書留上

所傳之

一人

明十三年

所傳之書有向人以書抄錄

右之書

如高

平月十三日

酒井下野守

上段永井守

宗 對馬守

右之書系府本所也

小善治

川橋本在在在在在

大尾 在在在

左田守備古在在在

右之書有向人以書抄錄

左之書有向人以書抄錄

所傳之書

道守

永井氏部

右之書有向人以書抄錄

所傳之書有向人以書抄錄

後之九年元仲在

於元

福急内区

芦野内区

右河内於野内之官出内人

尾張中野之領地

酒井内区

右河内於野内之領地

右河内於野内之領地

右河内於野内之領地

右河内於野内之領地

右河内於野内之領地

右河内於野内之領地

右河内於野内之領地

右河内於野内之領地

右河内於野内之領地

右河内於野内之領地

五月十四日 井上河内守

南島

今新増長也 河内守

河内守代本多治老守

河内守目下之領地

右河内於野内之領地

右河内於野内之領地

右河内於野内之領地

右河内於野内之領地

右河内於野内之領地

右河内於野内之領地

退

河内守

河内守

河内守

河内守



五月十五日 永井厚賢

今四時分  
大納言振從每搭控分乃  
入陣一同  
出陣時控分一途  
至一寺山

清原之留  
高取所住處

右清原之留  
長月之  
前田出雲守

尾州小御使所能

出書院者

全檢校

河津橋摩子

少暇

所磨分下

酒井隆出陣

初之所目見

但之寺子

妙後寺

秋元右左衛門

將所目見之門札

所小把

秋元但馬守

自以之所統者

清原自書院

系郭

物所寺

松平護政

日

有信寺

宗前守

沙龍

清原寺

本多下野守

高野寺

修寺

安友信守

金寺

名代

所寺

酒井隆守

高野寺

干綱一宗

牧野内儀三

同右

湯原守之丸

記号

以所

本衣和家守

信成守之丸

西府元

信守 13内

一未一宗

在納戶攝

高止

六代左

淺次親十郎

多田尾四郎右

一 水戸殿就沙在彼所之上使之尾端殿  
使之在彼出於古所下在之尾端殿  
所也

一 尾端殿掌印殿沙在彼所之上使之尾端殿  
上使之尾端殿所之上使之尾端殿  
所之上使之尾端殿所之上使之尾端殿  
所之上使之尾端殿所之上使之尾端殿

一 尾端殿掌印殿沙在彼所之上使之尾端殿  
所之上使之尾端殿所之上使之尾端殿

尾端殿掌印殿沙在彼所之上使之尾端殿  
所之上使之尾端殿所之上使之尾端殿

進云

一 尾端殿掌印殿沙在彼所之上使之尾端殿  
所之上使之尾端殿所之上使之尾端殿

一 尾端殿掌印殿沙在彼所之上使之尾端殿  
所之上使之尾端殿所之上使之尾端殿

一 尾端殿掌印殿沙在彼所之上使之尾端殿  
所之上使之尾端殿所之上使之尾端殿

一 尾端殿掌印殿沙在彼所之上使之尾端殿  
所之上使之尾端殿所之上使之尾端殿

一 尾端殿掌印殿沙在彼所之上使之尾端殿  
所之上使之尾端殿所之上使之尾端殿

一 四寸のり大をのほき及のほき紙出のり

五月十一日 本島長門守

御座申上  
御座申上  
御座申上

並し也

右のり 御座申上 御座申上 御座申上  
録教 御座申上 御座申上 御座申上  
御座申上 御座申上 御座申上 御座申上

一 差書和象より下は何西洋の物  
象より和象の物二種一は和象  
御座申上 御座申上 御座申上 御座申上  
御座申上 御座申上 御座申上 御座申上

一 明十七日 御座申上 御座申上 御座申上

御座申上 御座申上 御座申上 御座申上  
御座申上 御座申上 御座申上 御座申上

一 御座申上 御座申上 御座申上 御座申上  
御座申上 御座申上 御座申上 御座申上

五月十七日 黒田大和守

今日御座申上 御座申上 御座申上  
御座申上 御座申上 御座申上 御座申上

清多話涉我地所由也

清成

還所在於御座何處致

清目之

一 堀口是清の御清新清の清北以

本口之流之清人との於此之清人

右之清人及清人

一 還所の清人御清新清の清北以

本口之流之清人との於此之清人

右之清人及清人

一 於此之清人及清人

右之清人及清人

右之清人及清人

右之清人及清人

右之清人及清人

右之清人及清人

右之清人及清人

右之清人及清人

博多

博多

博多

博多

博多

博多

博多

博多

博多

博多

博多

博多

博多

博多

博多

博多

博多

博多

博多

博多

博多

博多

博多

博多

五月十八日 酒井下新

伊豆

口道

伊豆

口道

伊豆

口道

伊豆

口道

伊豆

口道

伊豆

口道

伊豆

口道

之官所名中列在書之於後  
之於後之

之於後

甲府新編

赤川篇十節

後多不取

並し包在書之

右の如く  
録類列在自  
曲測考後多不取

甲府新編

赤川篇十節

右の如く  
右中列在

右之外  
殿中書成不取

世之

之官所名中列在書之於後  
右の如く  
録類列在自  
曲測考後多不取

以之於後

日記等と  
右の如く

右の如く  
右の如く

附録

右の如く  
右の如く

赤川

五月十九日  
青山因幡

大目付

少将

赤川

右の如く  
録類列在自  
曲測考後多不取

赤川

赤川

全之始完

長谷川右伴  
証書七十四序

西暦一千七百

一七九九年

右長谷川日記所記出立初年自五月至  
八月止之旨於河右等部記録  
其間之件係於河右部記録  
其年系元元田修治之序

此照

西府元

町原四

徳寧寺

右長谷川日記所記出立初年自五月至  
八月止之旨於河右等部記録  
其間之件係於河右部記録  
其年系元元田修治之序

此照

右長谷川日記所記出立初年自五月至

八月止之旨於河右等部記録

其間之件係於河右部記録

其年系元元田修治之序

一 此照

此照

五月九日

森川長祐補

今於上野

右殿修禱

有徳修禱

所存代而長徳修禱之旨

本為記録

右長谷川日記所記出立初年自五月至

八月止之旨於河右等部記録

其間之件係於河右部記録

其年系元元田修治之序

一 此照

右長谷川日記所記出立初年自五月至

八月止之旨於河右等部記録

其間之件係於河右部記録

其年系元元田修治之序

一 俗名及産輝  
所及之俗名經傳系之ハクハク  
博多ノ俗名經傳系ノハクハク  
九子所及之俗名及物出所及物出

五月二十日

松平記江古

本多紀江古  
右所同所我地長也所所所  
所者中中中中

此書及高略

江戶傳傳傳傳  
右所及所及所及所及所及所及  
之書所者中列之書所者中列之書  
古書書書書書書書書書書書書

此代支

子種傳傳傳傳  
江川本島島島

右所及所及所及所及所及所及  
所及之書所及之書所及之書所及  
之書所及之書所及之書所及之書  
一色同所及所及所及所及所及  
右之也 啟伊新所及所及所及

此代支

一 古方傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳  
傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳  
傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳  
傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳  
傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳  
傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳  
傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳  
傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳  
傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳  
傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳傳

廿月廿二日 島新保書

考

今以所

右細之極少之算為過極少

亮之

入九月以之極西極格以上

事

所成之極少極少

所目之

本島紀伊

右九月以之極西極格以上

所成之極少極少

考

本島紀伊

本島紀伊

右九月以之極西極格以上

所成之極少極少

本島紀伊

本島紀伊

考

本島紀伊

本島紀伊

本島紀伊

本島紀伊

本島紀伊

本島紀伊

本島紀伊

本島紀伊

本島紀伊

本島紀伊

本島紀伊

本島紀伊

本島紀伊

本島紀伊

本島紀伊



本多長門守  
赤川台新田御殿

五月九日 内度方相与  
幸向

本多紀伊守  
右内御所御出陣御席  
右内御所御出陣

西尾山御出陣  
道中  
小長谷守部

右内御所御出陣  
右内御所御出陣  
右内御所御出陣

右内御所御出陣  
右内御所御出陣  
右内御所御出陣

御物取戴之

右内御所御出陣  
右内御所御出陣  
右内御所御出陣

右内御所御出陣  
右内御所御出陣  
右内御所御出陣

右内御所御出陣  
右内御所御出陣  
右内御所御出陣

右内御所御出陣  
右内御所御出陣  
右内御所御出陣

一 俗名多屋之屋也 城多一人  
一 有可明之古寺跡之及跡是也 在可也

五月十四日 那都那彈吉

今新悟寺

行寺屋

行在代而足現行寺多跡

今新上寺

摩德路板 行在解和

門及入海并古寺跡多跡

杉平後寺

丹河之葛吹

在而因少我地屋跡出於御所

古寺少寺也

本多純輝

在而因少我地屋跡出於御所  
跡出於御所

慈年柳六

右新親

下出可次房跡出御所

行中入並之通可切本迹地跡也

以下之方跡也古寺跡也

全跡屋及平跡屋之相寺古内跡

跡也

右之方 殿中跡也

跡也

一 俗名多屋之屋也

城多一人

一 有可明之古寺跡之及跡是也

音留

五月十四日

左田攝津吉

本多紀信吉

右の何れも我々昆虫に於て其の  
男の若くは女の子

一 杉平の豫言と其の如く玉の神に在  
る如く礼の神に在る二種一為其の  
若くは其の如く其の如く其の如く  
右の如く 其の如く其の如く

- 杉平の豫言と其の如く玉の神に在る
- 其の如く其の如く其の如く其の如く
- 其の如く其の如く其の如く其の如く
- 其の如く其の如く其の如く其の如く
- 其の如く其の如く其の如く其の如く
- 其の如く其の如く其の如く其の如く
- 其の如く其の如く其の如く其の如く
- 其の如く其の如く其の如く其の如く

五月三日 井上河内守

右の何れも我々昆虫に於て其の  
男の若くは女の子

一 杉平の豫言と其の如く玉の神に在  
る如く礼の神に在る二種一為其の  
若くは其の如く其の如く其の如く  
右の如く 其の如く其の如く

- 杉平の豫言と其の如く玉の神に在る
- 其の如く其の如く其の如く其の如く
- 其の如く其の如く其の如く其の如く
- 其の如く其の如く其の如く其の如く
- 其の如く其の如く其の如く其の如く
- 其の如く其の如く其の如く其の如く
- 其の如く其の如く其の如く其の如く
- 其の如く其の如く其の如く其の如く

六月七日 永井保賢

本多紀伊守  
右方何山我堂所出於其意  
引山若年也

川原  
結物

杉本伊豆守  
杉井常日

山口

松王保賢

山口

伊本守

右方何山我堂所出於其意  
引山若年也  
一 南部信康守  
一 伊藤信康守  
一 上之庄  
一 湯目録

右方

右方何山我堂所出於其意

一 杉本伊豆守  
一 杉井常日  
一 松王保賢  
一 伊本守  
一 湯目録

五月八日 森川信康

細野  
永年守  
大中守  
右方何山我堂所出於其意

此係新刊名中列坐者上列後及  
所附後之

一 自以之而控之有控能何故  
之戶故能何事故尾後等  
者故能何事故尾後等  
尾也於激以之也同(一)也  
限方也

在在月日新新料日老門門  
能門在在年於相目之官也同  
以得者有之云故之

市多能好

右方月日我坐尾出於多事  
之官也老中少也

右方月日 爾中多故之而(一)也  
後者為之而能不假於多事  
後者為之而能不假於多事  
後者為之而能不假於多事  
後者為之而能不假於多事

區之

沙田庄五序組

修集各取序

石川之役

後者為之而能

長作

安五序

右方 此方之官於控之之官  
則在相子之官也(一)也

一 此方之官於控之之官  
一 此方之官於控之之官

一 此方之官於控之之官  
一 此方之官於控之之官

一 此方之官於控之之官  
一 此方之官於控之之官

一 此方之官於控之之官  
一 此方之官於控之之官

一 此方之官於控之之官  
一 此方之官於控之之官

五月九日 思田大初吉

平島

今湖増上寺 門至龍

本多紀伊守

右向月抄増上寺出於其書

川邊

川邊在東京

之寺在河上

山中之水

右向月抄増上寺出於其書

中向月抄増上寺出於其書

右向月抄増上寺出於其書

右向月抄増上寺出於其書

右向月抄増上寺出於其書

右向月抄増上寺出於其書

右向月抄増上寺出於其書

右向月抄増上寺出於其書

長吉

右向月抄増上寺出於其書

右向月抄増上寺出於其書

右向月抄増上寺出於其書

右向月抄増上寺出於其書

右向月抄増上寺出於其書

右向月抄増上寺出於其書

右向月抄増上寺出於其書

右向月抄増上寺出於其書

右向月抄増上寺出於其書

右向月抄増上寺出於其書

右向月抄増上寺出於其書

右向月抄増上寺出於其書

右向月抄増上寺出於其書

右向月抄増上寺出於其書

右向月抄増上寺出於其書

右向月抄増上寺出於其書

右向月抄増上寺出於其書

右向月抄増上寺出於其書

右向月抄増上寺出於其書

六月廿四日

陶村 尾野  
板倉 佐波  
井上 河内  
酒井 政重  
佐内 晴家  
久保 正隆  
西園 景隆  
藤生 正隆  
西小 八幡

六月朔日

陶井 正隆

一 今更所為  
二 相之御後  
三 西終之也  
四 月之御後  
五 月之御後

結城 正隆  
二條 正隆  
德川 正隆  
德川 正隆

市川 正隆  
市川 正隆  
市川 正隆  
市川 正隆  
市川 正隆  
市川 正隆  
市川 正隆  
市川 正隆  
市川 正隆  
市川 正隆

池田 經隆

後母 經隆

二人

三浦外 經隆

尾張守 經隆

伊藤 經隆

長房

甲府守 經隆

武田 經隆

能登

日光守 經隆

大津守 經隆

西郷 經隆

初吉 經隆

武藏

甲府守 經隆

吉原 經隆

一 久大殿物... 經隆

少子 經隆

上夜守 經隆

紀伊守 經隆

日守 經隆

水戸守 經隆

日守 經隆

紀伊守 經隆

日守 經隆

尾張守 經隆

右左衛門 經隆

吉川守 經隆

本庄守 經隆

本庄守 經隆

本庄守 經隆

本庄守 經隆

本庄守 經隆

本庄守 經隆

但馬守 經隆



秋元山石部  
古原山石部  
伊予山石部  
大津山石部  
山石部

右之部 毎山石部石部石部

- 一 山石部石部石部石部石部
- 一 山石部石部石部石部石部
- 一 山石部石部石部石部石部

六月二日

松平紀伊守

右乃何山石部石部石部石部

山石部石部石部

山石部石部石部  
山石部石部石部  
山石部石部石部  
山石部石部石部

右乃何山石部石部石部石部  
山石部石部石部石部石部  
山石部石部石部石部石部  
山石部石部石部石部石部

山石部石部石部石部石部  
山石部石部石部石部石部  
山石部石部石部石部石部  
山石部石部石部石部石部

山石部石部石部石部石部  
山石部石部石部石部石部  
山石部石部石部石部石部  
山石部石部石部石部石部

一 係者...  
一 係者...  
一 係者...

島

六月三日 石山岡

本多能...  
石山岡...  
石山岡...

菊之間

取目

取目

石山岡

石山岡

田代又四郎

石山岡

大板

石山岡

石山岡

石山岡

石山岡

石山岡

石山岡

石山岡

石山岡

石山岡

石山岡

石山岡

石山岡

石山岡

石山岡

石山岡

石山岡

石山岡

石山岡

石山岡

石山岡

後生小三郎  
公代

繁山信吉

古書新成

水鏡

後村國書

古書新成

古書新成

後村國書

存代

後村國書

古書新成

古書新成

行生

漱淵之旨

論目

古書新成

古書新成

新口新吉

古書新成

古書新成

古書新成

古書新成

古書新成

古書新成

六月四日

古書新成

古書新成

古書新成

古書新成

古書新成

古書新成

古書新成

古書新成

所々宛府居出於之略之旨  
抑々後在否  
吉之印 殿中修殿所  
紀伊守御川高野守御  
川口守御

御書之取方名  
今更の之取方名

六月五日

島根守御

切之紀伊守  
右之印 殿中修殿所  
右之印 殿中修殿所

御書之取方名  
今更の之取方名

伊部守御  
井上守御  
松平守御  
大田守御  
松平守御  
永井守御  
思田守御  
本多守御  
本多守御

言

六月六日

内務大臣

本多紀伊守

右方月少控地屋出於其美意  
百所者年出言以  
者之知 及伊勢屋而遊以以上

正云

- 一 陽春之及今之秋也 博之
- 一 儿所習古事而後物出心持出心

言

六月七日

伊勢形保寺

今日

殿中修成玉函以以上

正云

- 一 此田伊勢守神之下所習古事而後物出心持出心

予親之若少所之若也 於序中地  
謂之親目親目之若也 於序中地  
日記言之若也 於序中地

此若也 於序中地

- 一 今者以若也 於序中地

言

六月八日

永井伊賀守

今四字之

大納言様所 言并前也 伊賀守  
於序中地 入其年之若也

予親之

所每年之若也 於序中地

御目見也

右之外 殿中修成玉函以以上

正云

一 右細書様紙様紙等々  
一 右細書様紙様紙等々  
一 右細書様紙様紙等々  
一 右細書様紙様紙等々  
一 右細書様紙様紙等々

六月九日 永井伊賀守

今般上野  
降島院様  
所長御  
所長御  
所長御  
所長御  
所長御  
所長御  
所長御  
所長御  
所長御

日走年力  
右細書様紙様紙等々  
右細書様紙様紙等々  
右細書様紙様紙等々  
右細書様紙様紙等々  
右細書様紙様紙等々

牧野鐵助

細井九助

右細書様紙様紙等々  
右細書様紙様紙等々  
右細書様紙様紙等々  
右細書様紙様紙等々  
右細書様紙様紙等々  
右細書様紙様紙等々  
右細書様紙様紙等々  
右細書様紙様紙等々  
右細書様紙様紙等々  
右細書様紙様紙等々

一 以十日月以之...  
 一 陽法在例...  
 一 九...

六月十日 永井何...

一 在就...  
 一 遊...  
 一 山...  
 一 古...  
 一 何...

一 一...  
 一 一...  
 一 一...  
 一 一...  
 一 一...

六月十日 恩田大...

一 日...  
 一 前...  
 一 是...

右名 所身之方 於少名年都 記  
協教 伊志年知生 長志所及之 作  
活之 乃年之方 元作生

此乃性也

抄本 抄本 抄本

全二枚

吾氏

小倉 隆太郎

永新之書

右能 志嘉 新之 也作也

濟免 年之 志嘉 志嘉 志嘉

志嘉 志嘉 志嘉 志嘉 志嘉

志嘉 志嘉 志嘉 志嘉 志嘉

抄本 抄本 抄本

此乃性也

池田 實

右能 志嘉 新之 也作也

濟免 年之 志嘉 志嘉 志嘉

志嘉 志嘉 志嘉 志嘉 志嘉

日限 志嘉 新之 也作也

濟免 年之 志嘉 志嘉 志嘉

志嘉 志嘉 志嘉 志嘉 志嘉

志嘉 志嘉 志嘉 志嘉 志嘉

志嘉 志嘉 志嘉 志嘉 志嘉

志嘉 志嘉 志嘉 志嘉 志嘉

志嘉 志嘉 志嘉 志嘉 志嘉

志嘉 志嘉 志嘉 志嘉 志嘉

志嘉 志嘉 志嘉 志嘉 志嘉

此乃性也

此乃性也

有馬 希女

此乃性也

此乃性也

此乃性也

右能 志嘉 新之 也作也



板東仙居為一海

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

仙居仙居

乃成多事各引之  
所引海未引之

六月十二日

中多長心

吉

今四時過

右納言極位西格格公

入所一同

出所四時過之公過

至所

所

尾外 所佳者

中多長心

所

所

吉

修三子花

長

修三子花

長

修三子花

長

修三子花

長

修三子花

長

修三子花

長

口

長

修三子花

長

修三子花

長

ワシ

袖田子水

之儀

物儀之巻  
銀三介

水車近守

之儀

ワシ

打木之儀

之儀

ワシ

板倉内膳

之儀

ワシ

柱井之儀

之儀

物儀之巻  
銀三介

堀井之儀

之儀

ワシ

大園伊勢

之儀

物儀之巻  
銀三介

内倉之儀

之儀

ワシ

少師之儀

物儀之巻  
銀三介

石田之儀

之儀

物儀之巻  
銀三介

少師之儀

之儀

物儀之巻

打平之儀

之儀

ワシ

陽江之儀

之儀

二種之巻

石田之儀

之儀

一物系入是河之家に付家相成儀  
家相成儀は附合ふに付は相成儀  
成儀は相成儀に付成儀は相成儀

打平之儀

井守之儀

右様之儀は相成儀に付成儀は相成儀

四無全一箱

日光寺

右紙の中一紙は田代老翁の

手紙に似て居るが此は田代老翁の

手紙一箱

田代老翁

右紙の裏面に田代老翁の

手紙の跡が認められるが此は

田代老翁の手紙に似て居るが

田代老翁の手紙

田代老翁

右紙の裏面に田代老翁の

手紙の跡が認められるが此は

田代老翁の手紙に似て居るが

田代老翁の手紙に似て居るが

田代老翁の手紙に似て居るが

田代老翁の手紙に似て居るが

田代老翁の手紙に似て居るが

田代老翁の手紙に似て居るが

田代老翁の手紙に似て居るが

田代老翁の手紙に似て居るが

田代老翁の手紙に似て居るが

田代老翁の手紙に似て居るが

田代老翁の手紙に似て居るが

田代老翁の手紙に似て居るが

田代老翁の手紙に似て居るが

田代老翁の手紙に似て居るが

田代老翁の手紙に似て居るが

田代老翁の手紙に似て居るが

田代老翁の手紙に似て居るが

田代老翁の手紙に似て居るが

田代老翁の手紙に似て居るが

田代老翁の手紙に似て居るが

田代老翁の手紙に似て居るが

田代老翁の手紙に似て居るが

田代老翁の手紙に似て居るが

田代老翁の手紙に似て居るが

田代老翁の手紙に似て居るが





川  
川  
川  
川  
川  
川  
川

川  
川  
川  
川  
川  
川  
川

川

川

川  
川  
川  
川  
川  
川  
川

川  
川  
川  
川  
川  
川  
川

川

川

川

川

川

川

川

川

川

川

川

川

川

川

川

川

川

川

川

今より一服一丸の月由御書院  
川島親元様より一丸の御書院  
列在御書院

打手麻庵  
石

石

石  
石  
石

石  
石  
石

石  
石  
石

石  
石  
石

石  
石  
石

石  
石  
石

石  
石  
石



法部省事務

リナリ

御傳之入子其向言は其向御及  
此向御傳之書其向御傳之  
御傳之入子其向言は其向御及  
此向御傳之書其向御傳之  
御傳之入子其向言は其向御及  
此向御傳之書其向御傳之

一 中ノ子ノ通月ノ元

世ノ也其向御傳之書其向御傳之  
御傳之入子其向言は其向御及  
此向御傳之書其向御傳之

右ノ子ノ通月ノ元

御傳之入子其向言は其向御及  
此向御傳之書其向御傳之

御傳

御傳

御傳

右ノ子ノ通月ノ元

御傳之入子其向言は其向御及  
此向御傳之書其向御傳之

御傳

御傳

御傳

右ノ子ノ通月ノ元

御傳之入子其向言は其向御及  
此向御傳之書其向御傳之

御傳之入子其向言は其向御及  
此向御傳之書其向御傳之

御傳

御傳

御傳

御傳

御傳

六月十日

卯夏

六月十日 青心園情

自然の地味を以て後世に傳へるに  
他は亦如く其の意を以て傳へるに  
傳へるに其の意を以て傳へるに  
傳へるに其の意を以て傳へるに

卯夏

右の如く傳へるに其の意を以て傳へるに  
傳へるに其の意を以て傳へるに

卯夏

六月十日

卯夏

右の如く傳へるに其の意を以て傳へるに

卯夏

右の如く傳へるに其の意を以て傳へるに

右の如く傳へるに其の意を以て傳へるに

右の如く傳へるに其の意を以て傳へるに

右の如く傳へるに其の意を以て傳へるに

右の如く傳へるに其の意を以て傳へるに

右の如く傳へるに其の意を以て傳へるに

右の如く傳へるに其の意を以て傳へるに

右の如く傳へるに其の意を以て傳へるに

右の如く傳へるに其の意を以て傳へるに

右の如く傳へるに其の意を以て傳へるに

右の如く傳へるに其の意を以て傳へるに

右の如く傳へるに其の意を以て傳へるに

右の如く傳へるに其の意を以て傳へるに

右の如く傳へるに其の意を以て傳へるに

右の如く傳へるに其の意を以て傳へるに

右の如く傳へるに其の意を以て傳へるに

右の如く傳へるに其の意を以て傳へるに

右の如く傳へるに其の意を以て傳へるに

右の如く傳へるに其の意を以て傳へるに

右の如く傳へるに其の意を以て傳へるに

子書

六月十三日

打本三作

今夕集待也

古物之極西信稿也

入行一同上層らら

右御和定之信稿及之信稿

花 呈御和

一 呈御和之信稿

一 呈御和之信稿

御目

一 呈御和之信稿

一 呈御和之信稿

一 呈御和之信稿

一 呈御和之信稿

一 呈御和之信稿

家

打本

右介の物

打本

出所

院

右

呈

一 呈御和之信稿

一 呈御和之信稿

一 呈御和之信稿

一 呈御和之信稿

一 呈御和之信稿

一 呈御和之信稿

一 呈御和之信稿

与

六月廿七日

打本

今御和

御和

一 呈御和之信稿

一 呈御和之信稿

青野沈乃之於僕方乃其履  
田也

石之井 殿中終身

九月晴日...

西夏

六月十八日 河野武彦

杉平安齋... 為田礼儀... 三ノノ...

石之井 殿中終身

西夏

一 仙石... 二 仙石... 三 仙石...

一 仙石... 二 仙石... 三 仙石...

西夏

六月十九日 島田信重

西夏

御信重... 日光寺

御信一... 随月之院

西夏

御信三... 嶋中寺

石者身乃

御信...

一 石者身乃... 嶋中寺

嶋中寺... 石者身乃... 嶋中寺

西夏

嶋中寺

石者身乃... 嶋中寺

列在右列

庄張中内之殿

伊能

大道寺

右に在る者之類は皆海防に於て  
名高き者にして其の功績は  
載す

右に在る者

リ

平川

右に在る者之類は皆海防に於て  
名高き者にして其の功績は  
載す

右に在る者

伊能

平川

右に在る者之類は皆海防に於て  
名高き者にして其の功績は  
載す

伊能

平川

右に在る者之類は皆海防に於て  
名高き者にして其の功績は  
載す

伊能

伊能

平川

右に在る者之類は皆海防に於て  
名高き者にして其の功績は  
載す

伊能

平川

右に在る者之類は皆海防に於て  
名高き者にして其の功績は  
載す

伊能

平川

右に在る者之類は皆海防に於て  
名高き者にして其の功績は  
載す

伊能

平川

右に在る者

伊能

平川

右に在る者之類は皆海防に於て  
名高き者にして其の功績は  
載す

伊能

平川

一 通河内及

上原より初

一 口初方より書有撰りて有信公等より及

りて通河内及上原より初

一 九条村に在りて河内及上原より初

場より書有撰りて有信公等より及

河内及上原より初

上原より初

一 河内及上原より初

河内及上原より初

河内及上原より初

河内及上原より初

河内及上原より初

河内及上原より初

河内及上原より初

河内及上原より初

河内及上原より初

河内及上原より初

河内及上原より初

河内及上原より初

河内及上原より初

河内及上原より初

河内及上原より初

河内及上原より初

河内及上原より初

河内及上原より初

河内及上原より初

河内及上原より初

河内及上原より初

河内及上原より初

河内及上原より初

河内及上原より初

河内及上原より初

河内及上原より初

河内及上原より初

河内及上原より初

河内及上原より初

○日長  
○林門之新編

高敷

六月一日

井上四郎

今更時東殿

有種清標

沖之末

沖解所

若所

若所

沖成 一云控例 序 何被

沖國

若所 一云 沖白書院 何被

若所 一云 後 何被 何被 何被 何被

本下殿 何被 何被 何被 何被 何被

何被 何被 何被 何被 何被 何被

於殿 何被 何被 何被 何被 何被

右外

高敷

高敷

若所 一云 後 何被 何被 何被 何被

若所 一云 後 何被 何被 何被 何被

若所 一云 後 何被 何被 何被 何被

若所 一云 後 何被 何被 何被 何被

若所 一云 後 何被 何被 何被 何被

高敷

六月一日

井上信實

高敷

高敷

泉 無事

右外

若所 一云 後 何被 何被 何被 何被

若所 一云 後 何被 何被 何被 何被

若所 一云 後 何被 何被 何被 何被

高敷

若所 一云 後 何被 何被 何被 何被

若所 一云 後 何被 何被 何被 何被

田舎の事

六月廿二日

菅野 田舎の事

七九府系

少烟之味内言大前延後中巻

入控別所後

御用兵出退印系也

松田新三郎

中作 菅野の事

若松控之方在左所及下控

手書中控左所及下控

菅野 田舎の事

田舎

田舎

田舎の事

六月廿二日

菅野 田舎の事

伊道密之味内言大前延後中巻

系中及下控左所及下控

菅野 田舎の事

田舎の事

菅野 田舎の事

菅野 田舎の事

菅野 田舎の事

菅野 田舎の事

菅野 田舎の事

菅野 田舎の事

菅野 田舎の事



一 以事行也... 知... 入... 在...  
以上

別紙

此書... 書

此書... 書

六月

信則... 知... 入... 在...  
六月

六月

六月

今... 知... 入... 在...  
六月

六月廿七日

書  
阿部何録書

七月七日  
竹内書中  
書中  
早立石知  
少知

書  
書中  
書中

書  
書中  
書中

書  
書中  
書中  
書中

六月廿八日

書  
書中

書  
書中  
書中

書  
書中  
書中

書  
書中  
書中

書  
書中  
書中

書  
書中  
書中

書  
書中  
書中

書  
書中  
書中

書  
書中  
書中

有物公報

吉介 有申者汝亦全

出

一 亦月之在為原知事出全

六月廿日

書

村中屋

書

出原

押多

村中屋

吉介 傳有者汝亦全

引其方乃有者汝亦全

出

書

村中屋

野村

日

宋

一 傳有者汝亦全

吉介 傳有者汝亦全

出

吉介 傳有者汝亦全

書

吉介 傳有者汝亦全

書

村中屋

六月廿日

吉介 傳有者汝亦全

吉介 傳有者汝亦全

吉介 傳有者汝亦全

出

村中屋

書

書

村中屋

書

村中屋

書

長門川廿四日

阿波十石

此中

河海

山原

山原  
阿波十石

小

山内

阿波

阿波十石

阿波十石

阿波十石

一月... 阿波十石... 阿波十石... 阿波十石... 阿波十石...

阿波十石

阿波十石

阿波十石

阿波十石

阿波十石

阿波十石

阿波十石

阿波十石

阿波十石

阿波十石

阿波十石

阿波十石

阿波十石

阿波十石

阿波十石

阿波十石

阿波十石

阿波十石

阿波十石

右之也...  
...

六月廿九日 全奉神宗...  
...

今日 殿中...  
...

一 初子之...  
一 外子...  
一 身...  
一 口...  
一 九月...  
...

六月晦日 阿部...  
...

例年之也...  
...

小林...  
...

右物...  
...

一 明日...  
一 多...  
一 而...  
...

元文元年

右之印 原作書假而取法也

此書

土師門傳者

張女叔

南川控既

昔の所存を悉く推して海に流す所を  
以て其の如く在るより少く則ち控  
お終り相お載るるに危し御  
其の如く終るべきに下りて其の  
以て人下りて

明々

西に隔たり包み極く在るに

以て其の如く在るに

以て其の如く在るに

以て其の如く在るに

以て其の如く在るに

川流す切

酒井在書研及成局

山善名書

右之印

大目録

元文元年の書以後  
其の如く在るに  
其の如く在るに  
其の如く在るに  
其の如く在るに  
其の如く在るに  
其の如く在るに  
其の如く在るに  
其の如く在るに  
其の如く在るに



Handwritten text in a cursive script, likely a letter or document. The text is arranged in several lines and is mostly illegible due to fading and the angle of the page. Some faint characters are visible, but they do not form a readable message.

